



リキッドディスペンサー DL-1HTF

取扱・据付工事説明書



DL-1HTF

このたびは、ホシザキ商品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。

- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 保証書をお受け取りください。

も く じ

ご使用の前に

重要なお知らせ	2
安全上のご注意	4
■ PL ラベル（警告）の貼り付け位置	
■ 安全装置	
各部のなまえとその働き	10
■ 外観・内部名称	
■ 操作パネル	
付属品	12
お使いになる前に	13
■ 据付工事終了時の確認	
■ 運転前の確認	

運転・停止のしかた

運転のしかた	14
■ 運転前の点検（毎日）	
■ 運転の手順	
■ 運転のしかた	
■ 原料パックの確認と調整のしかた	
■ 断水のと看	
停止のしかた	24
■ 停止の手順	
水抜きの手順	25
■ 水抜きの手順	

お手入れと点検

お手入れと点検	26
■ サービスマンによる安全点検のおすすめ	
■ 点検・交換時期目安	
■ お手入れの概要	
■ 毎日のお手入れ	
■ 1週間に1回のお手入れ	
■ よごれが目立つときのお手入れ	
■ 1か月に1回の点検	
■ 1年に1～2回の点検	
■ 消耗品・定期交換部品	
長期停止	34
アフターサービス	35
■ 保証書（ホシザキ販売会社発行）	
■ 補修用性能部品の保有期間	
■ 修理を依頼されるとき	
■ ネームプレート貼り付け位置	
■ 保証とサービス	

知っておいてください

修理を依頼される前に	37
■ 動作の異常	
■ エラーメッセージ	
仕様	40
■ 仕様	
■ 外形寸法	

据付工事説明

重要なお知らせ

■ 食品衛生法に基づく食品等事業者の法的責務

食品衛生法により、食品等事業者は自らの責任において食品の安全性を確保するよう求められています。製品の安定した性能維持のために毎日の点検・清掃を行い、衛生的にお使いください。

■ お客様の個人情報に関するお取り扱いについて

ホシザキ株式会社およびホシザキグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、ホシザキ製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
2. 当社は、お客様の個人情報を、下記の場合を除いて第三者への開示・提供はいたしません。
 - ・修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合
 - ・法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合
 - ・その他正当な理由がある場合
3. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。

お客様の個人情報に関するお問い合わせは、裏表紙に記載のご相談窓口をお願いします。

■ 商標または登録商標について

この取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ 移設・廃棄・譲渡について

- このリキッドディスペンサー（以下「製品」）は、国内での使用を前提にしています。したがって、海外諸国での規格などの適用・認定などは実施していません。この製品を国外へ持ち出し、使用した場合、事故などによる補償の問題が発生することがあっても、当社は、直接・間接を問わず、一切の責任を負いません。
- この製品を移設する場合は、専門業者か最寄りのホシザキ販売会社にご相談ください。据付不備があると水漏れ、感電、火災などの原因になります。
- この製品を廃棄する場合は、専門業者か最寄りのホシザキ販売会社にご相談ください。不法投棄すると、罰則が適用されます。また、環境破壊の原因にもなります。
- そのまま放置すると、幼児などがドアで手をはさんだり、ケガする原因にもなります。
- この製品を転売・譲渡する場合は、新しい所有者に正しくお使いいただくため、この取扱説明書を製品本体の目立つところにテープ止めして渡してください。また、添付されているすべてのもの（保証書、付属品）を、新しい所有者に渡し、転売（または譲渡）した側は、一切の複製物を保持しないでください。
- この製品を転売・譲渡する場合は、新しい所有者を最寄りのホシザキ販売会社にご連絡ください。

■ 使用目的・用途について

- この製品は、水を保温し味噌汁を作るリキッドディスペンサーです。それ以外の用途に使用しないでください。
- この製品は、業務用として作られています。家庭用には使用しないでください。
- 事故を防止するため、本来の使用目的以外の製品の使用やこの取扱説明書に記載している以外の運転・保守作業はおやめください。

■ 取り扱い上の注意

- 当社は、この取扱説明書記載の指示事項を守らなかったり、製品を改造・乱用・誤用したり、あるいは運転・保守作業にあたり、通常払うべき注意または用心を怠って生じた損害ならびに傷害に対しては一切責任を負いません。
- 当社は、この製品の取り扱い上の危険について、すべての状況を予測することはできません。したがって、すべての危険を取扱説明書や製品に貼り付けている PL ラベルで伝えることはできません。事故を防止するため、製品の運転・保守作業を行う場合は、この取扱説明書や PL ラベルに記載の指示事項だけでなく、十分気を付けてください。
- 製品の性能、故障および耐久性は、日常の取り扱いや整備によっても変わります。
- この取扱説明書は、日本語を理解できる人を対象に作成されています。管理者は使用される方に対して、安全・操作指導を徹底してください。
- 管理者は、この製品を使用される方が変わった場合には、この取扱説明書を理解させて、かつ安全・操作指導してください。

■ 取扱説明書について

- この製品には、設計上の対策や安全装置によって除去できないものについては、警告文として情報を提供しています。
- この取扱説明書の内容は、製品改良により、予告なく変更する場合があります。
- この取扱説明書に記載されている図は、実際の製品とは異なることがあります。また、図の一部は、製品内部の説明を容易にするために、省略していることがあります。
- この取扱説明書は当社が著作権を有しています。この取扱説明書を含む図面および技術文書のいかなる箇所も当社の事前の同意書なしに、複写、電子媒体など、どのような方式であっても複写することはできません。
- この取扱説明書を紛失、または損傷した場合は、速やかに最寄りのホシザキ販売会社にご注文ください。取扱説明書のない状態での使用は、事故発生の原因となります。
- より詳しい情報を必要とする場合やご質問がある場合は、最寄りのホシザキ販売会社にお問い合わせください。

■ 保証書について

- 保証書はホシザキ販売会社で発行します。
必ずお受け取りいただき、よくお読みになり大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたとき生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

人身事故、物的損害および製品本体の損害に関する警告表示

* 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をいいます。

 警告	誤った取り扱いをしたときは、死亡、後遺症などの重大な被害の可能性があることを意味します。
 注意	誤った取り扱いをしたときは、軽度の傷害が発生する可能性があることを意味します。
使用上の注意	誤った取り扱いをしたときは、製品が故障する可能性があることを意味します。
お知らせ	製品本来の能力が発揮できないこと、あるいは、特に知っておいていただきたいことを意味します。

衛生に関する警告表示

 衛生	誤った取り扱いをしたときは、健康障害が発生する可能性があることを意味します。
---	--

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

	(例)  分解禁止  接触禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘ の中や近くに絵や文章で示します。
	(例)  プラグを抜く  アース線接続	強制（すること）を示します。 具体的な強制内容は、● の中や近くに絵や文章で示します。
	(例)  感電注意  手はさみ注意	注意を示します。 具体的な注意内容は、△ の中や近くに絵や文章で示します。

警告

! この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになるまえに取扱説明書をよくお読みになり十分に理解すること

よく読む

ケガの原因になります。



! 据付工事は専門業者に依頼すること

専門業者

お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。



! アース工事を行うこと
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないこと

アース工事

アースが不完全な場合は、感電の原因になります。(電気工事業者によるD種接地工事が必要)

アース線を確実につなぐ

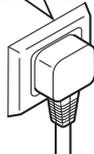


! 専用電源を使用すること

専用電源

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用やタコ足配線をする、感電、発熱、火災、また誤作動の原因になります。

専用電源



! 屋外で使用しないこと

屋外禁止

雨水のかかる場所で使用されると、漏電、感電の原因になります。



! 湿気の多いところや、水のかかり易い場所で使用しないこと

湿気禁止

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



! 電源コードを傷つけないこと

禁止

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものをのせたり、はさみ込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



! めれた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチ（漏電遮断器）を操作しないこと

ぬれ手禁止

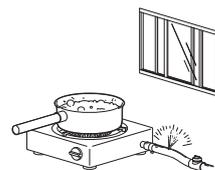
感電の原因になります。



! 周辺のガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、換気すること

ガス栓閉

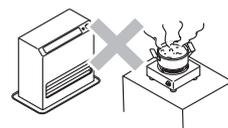
ガスが漏れた状態で電源プラグを抜くと、火花により引火爆発します。



! 熱器具（ガスコンロなど）をのせたり、熱器具を周囲に置かないこと

熱器具禁止

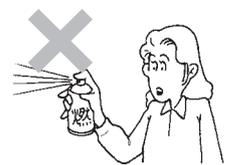
熱でプラスチックが溶けたりして、火災の原因となります。



! 可燃性のスプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

禁止

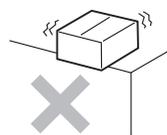
スイッチの火花などで引火し、発火の原因になります。



! 製品の上（機械室含む）に物（重量物、水を入れた容器）を置かないこと

禁止

落下しケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり漏電の原因になったり、ファンがロックし、異常発熱により火災の原因になります。



警告



水掛け
禁止

製品に直接水をかけないこと

ショート、感電、さび、故障の原因になります。



高温注意

注出中は、注出ノズルの下に手や顔を入れないこと

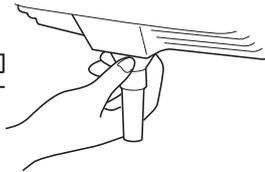
80℃以上の熱湯が出るため、やけどをする原因になります。



組付確認

注出ノズルなどの組み付けは、確実に 行うこと

部品がはずれて、80℃以上の熱湯が思わぬ方向に注出され、やけどをする原因になります。



禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないこと

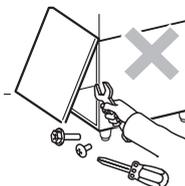
やけど、感電、ケガをする原因になります。



改造禁止

改造は行わないこと

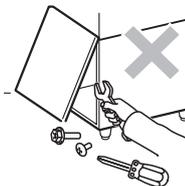
改造を行いますと、水漏れや感電、火災の原因になります。



分解禁止

修理技術者以外の方は分解したり、修理しないこと

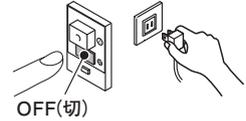
異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



電源を
切る

お手入れや点検をするときは、必ず運 転を停止し、元電源を切ること

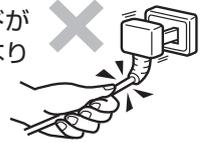
感電したり、機械が動いたとき、ケガをする原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コード を持って抜かないこと

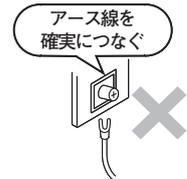
プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になります。



禁止

アース線は外さないこと

感電、火災の原因になります。



点検掃除

電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。

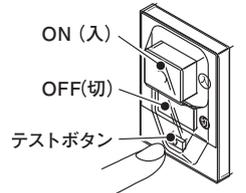
ほこりを取る



動作点検

漏電遮断器の機能は月に1回、動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。



連絡

電源スイッチ（漏電遮断器）が、「OFF（切）」に作動した場合には、ホシザキ販売会社に連絡すること

無理に「ON（入）」にすると、感電や火災の原因になります。



警告



連絡

異常時（焦げ臭いなど）は電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐにホシザキ販売会社に連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。



専門業者

長期間、製品を止めていたあと、製品を再び動かすときは、ホシザキ販売会社に連絡すること

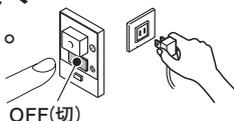
お客様自身で製品を再び動かすのはおやめください。感電などの原因になります。



電源を切る

1週間以上使用しない場合は、電源スイッチ（漏電遮断器）を「OFF（切）」にし、電源プラグを抜くか、元電源を切ること。

ほこりが溜まって、発熱、発火の原因になります。



禁止

フロントカバーを無理に開いたり、手で押さえないこと。

フロントカバーの損傷、脱落や製品転倒によるけがの原因になります。

注意



水抜き

周囲温度が0℃以下になり、凍結の恐れがあるときは使用を止め、水抜きすること

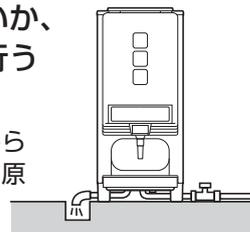
配管の破損により水漏れし、周囲の機器類を濡らす原因になります。



排水点検

排水管に詰まりが無いが、年に1～2回点検を行うこと

排水管が詰まると、漏水から周囲（家財など）をぬらす原因になります



禁止

製品の排気口は、ふきんなどでふさがれないこと

製品の放熱ができなくなり機械の故障などの原因になることがあります。



！衛生



水道水を使用すること

水道水

水道水以外を使用すると、さび・配管詰まりや健康障害の原因になります。



断水の際は、電源スイッチを「OFF (切)」にし、給水バルブを閉めること

断水時
閉弁

開けておくと、通水時に「赤水*1」が出て不衛生の原因になることがあります。



手を清潔ににしたうえで、各部の取り扱いやお手入れを行うこと

清潔

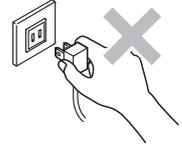
汚れた手で行うと健康障害の原因になります。



電源プラグを抜いたまま長期間 (2日以上) 放置しないこと

禁止

ホットタンク内の水質が変化し、不快な臭い・味がし、健康障害の原因になります。



飲料以外の目的には使わないこと

禁止

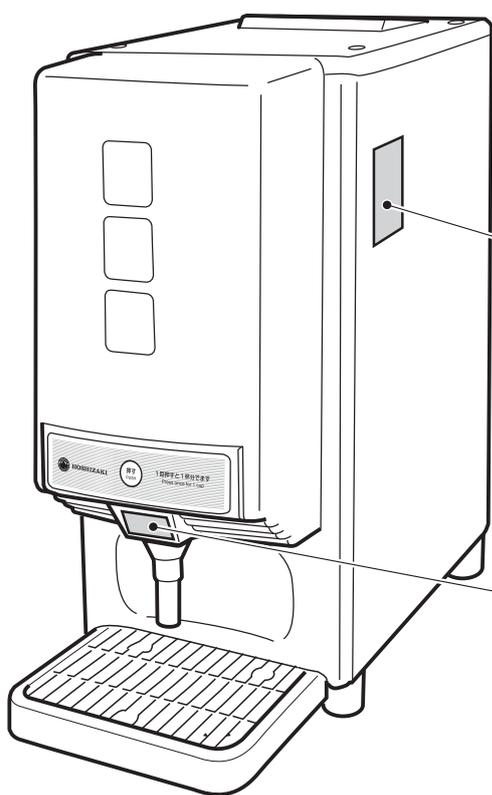
故障などの原因になったり、衛生上よくありません。



注) *1 黄褐色や赤褐色に濁ったさびを含んだ水

■ PL ラベル(警告)の貼り付け位置

- この製品には、正しく使用していただくため、PL ラベルが貼付してあります。よく読み、これらの注意に従ってください。
- PL ラベルを破損・紛失したり、記載文字が読めなくなった場合は、新しいラベルに貼り替えてください。PL ラベルはホシザキ販売会社にご注文ください。
- 汚れた場合は、きれいにふき取り、いつでも読めるようにしてください。



PL ラベル
部品コード 476477L01



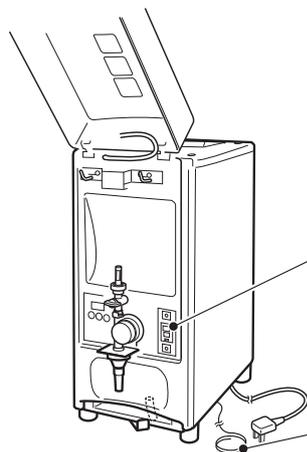
PL ラベル / コウオン
部品コード 463607-01



■ 安全装置

この製品には、使用者の安全を守り人身事故発生防止のため、次のような安全装置を組み込んでいます。これらの安全装置は、この取扱説明書に記載している「安全上のご注意」の厳守・禁止事項を遵守して初めて活かされるものです。

また、これらの安全装置の点検を行う必要があります。(点検の周期は、使用頻度によって異なります。)ホシザキ販売会社に点検を依頼してください。(有料)



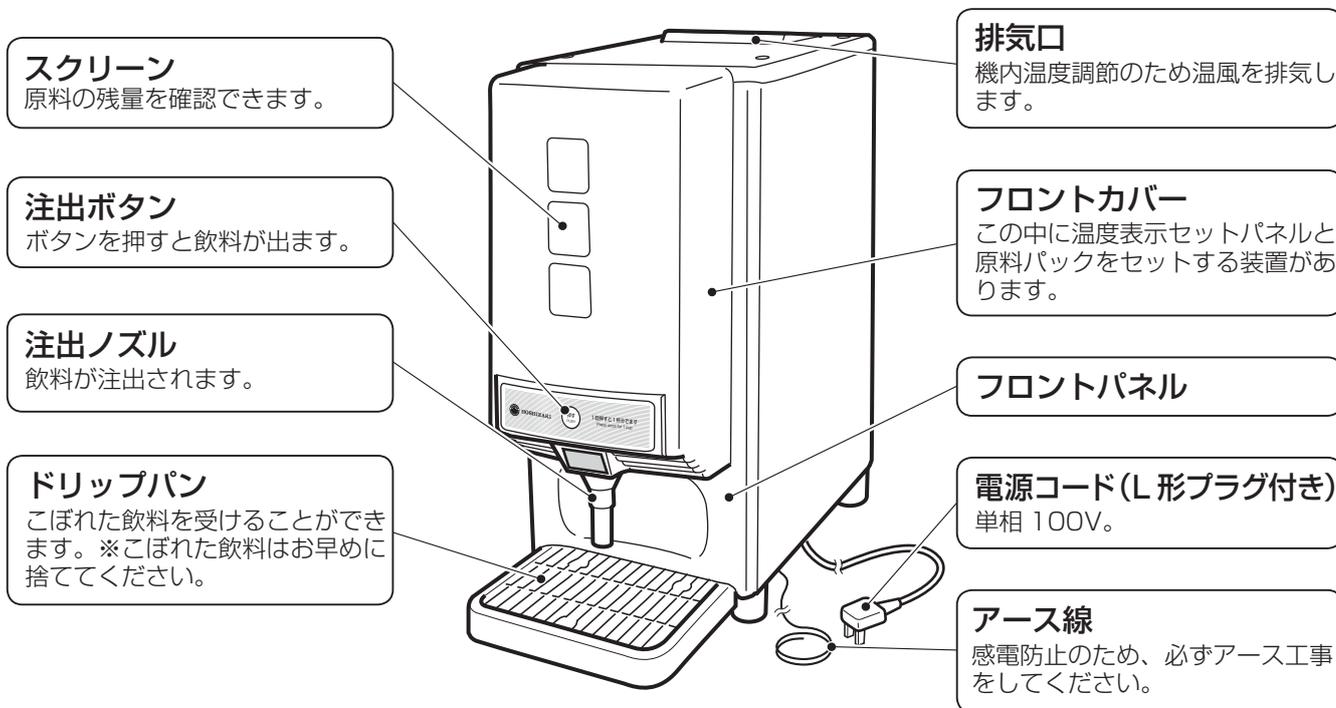
電源スイッチ (漏電遮断器)
電源を ON・OFF します。
漏電時に自動的に電源を切ります。

アース線
感電防止のため、必ずアース工事を
してください。

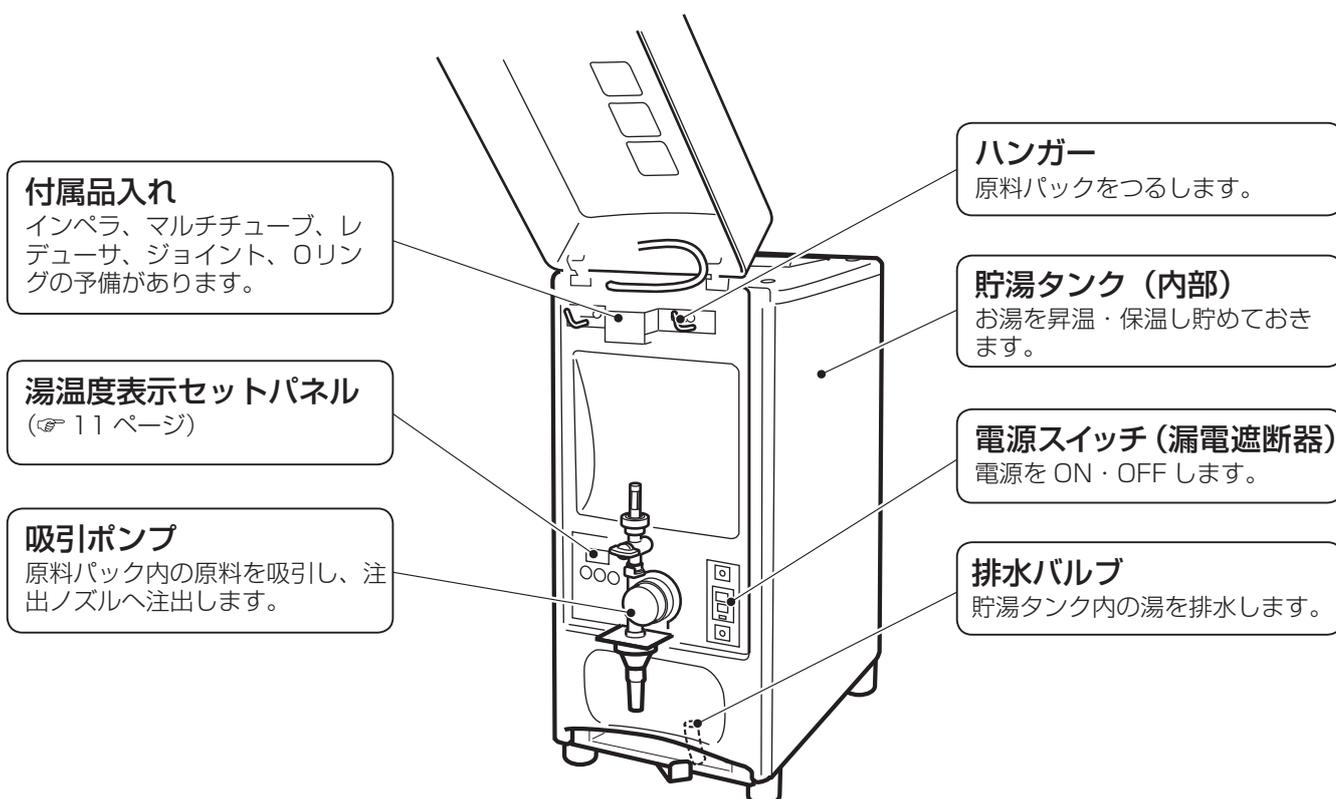
各部のなまえとその働き

■ 外観・内部名称

外観名称

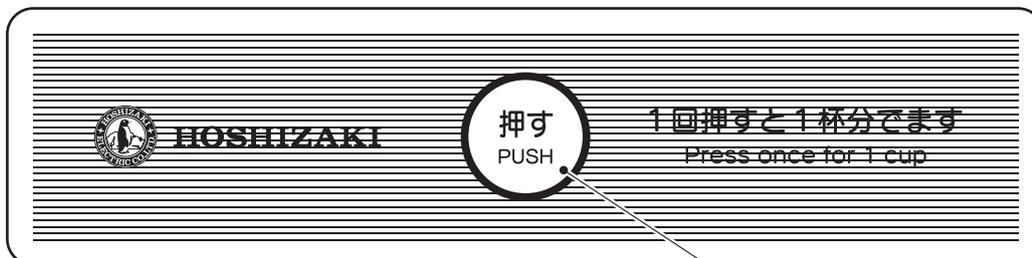


内部名称



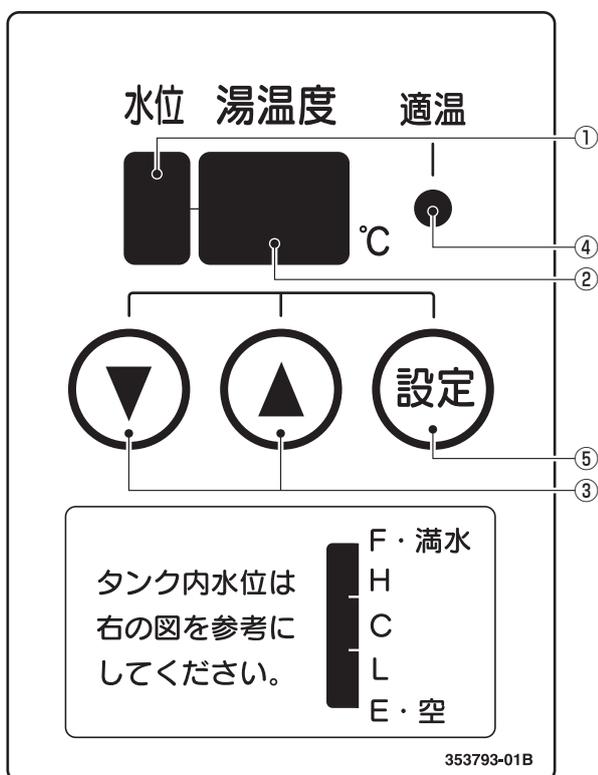
■ 操作パネル

注出ボタン



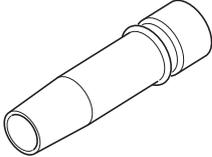
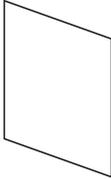
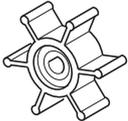
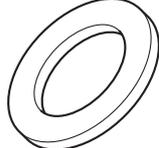
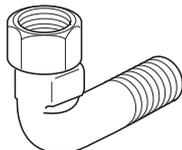
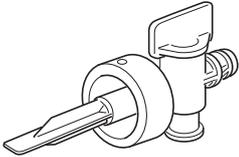
飲料を注出するボタンです。
1回押せば1杯分を自動で注出します。
また注出中は文字が点滅し、適温時は点灯しています。

湯温度表示セットパネル



- ① 水位表示
 - 貯湯タンク内の水位を5段階で表示します。
「F・満水→H→C→L→E・空」
- ② 湯温度表示
 - 貯湯タンク内の湯温度を表示します。
- ③ 増減ボタン
 - 設定値を増やしたり減らしたりすることができます。
- ④ 適温ランプ
 - 点灯中に飲料を注出できます。
- ⑤ 設定変更ボタン
 - 設定の変更をするときに使用します。

付属品

取扱・据付工事説明書 (1冊) 部品コード L1W031-02		マルチチューブ (2個) 部品コード 353866-01	
お手入れシート (1個) 部品コード 376565L01		インペラ (2個) 部品コード 369891G01	
予備Oリング (2個 S38) 部品コード 7616-S038		スケールガード (1個) 部品コード 3R4771-01	
予備Oリング (3個 P10) 部品コード 7611-P010		パッキン (1個) 部品コード 430347-02	
ブラシ (1個) 部品コード TL2865551		レデューサ (1個) 部品コード 338813-01	
エルボ (1個) 部品コード 456774-01		ジョイント (1個) 部品コード 370185P01	
ジョイントコック (1個) 部品コード 353868A01		POP レール (2個) 部品コード 375513P01	
ナットH (1個) 部品コード 467513-01		POP カバー (1個) 部品コード 475996P01	
ねじ (3個) 部品コード 473696M01			

お使いになる前に

■ 据付工事終了時の確認

据付工事終了時の確認は、お客様が立会いのうえ、専門業者と一緒に行ってください。
据付工事が終了しましたら、正しい工事が行われたことを「据付工事説明」に従って確認してください。
(☞ 41 ページ)

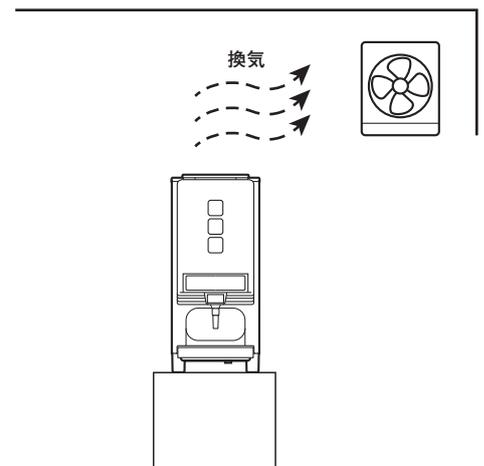
■ 運転前の確認

使用上の注意

- 使用温度範囲は周囲温度 5 ～ 35℃、水温 5 ～ 30℃でお使いください。周囲温度が 35℃を超える場合は、換気扇などで換気をしてください。
- 給水圧は 0.05 ～ 0.78MPa の範囲内で使用してください。
- 凍結の恐れのある場所へは据え付けしないでください。
- 直射日光があたらないようにしてください。
やむを得ず直射日光のあたる場所で使用するときは、日除けをつけてください。
- 本製品の排気口をふさがないでください。性能の低下や故障の原因になります。
- 水道水の塩素濃度が 0.2ppm 以上のときは、飲料の味、臭いが悪くなることがありますので、浄水器（別売）を取り付けてください。また、塩素濃度の高い水を長期間使用すると、最悪の場合、お湯の温度が上がらなくなったり、水漏れの原因になります。
- 浄水器（別売）が必要な場合は、ホシザキ販売会社に相談してください。

お知らせ

- この製品の飲料配管内は、あらかじめ洗浄がしてありますが、念のためもう一度洗浄をし、各部品が所定の位置にきちんと取り付けられているかどうか、点検してください。詳しくは、「お手入れと点検」(☞ 26 ページ)を参照してください。
- 配管はお客様ごとに配管状態が異なるので、水道の元栓、給水バルブ、水抜きバルブなどの位置、操作方法については、事前に確認してください。



運転のしかた

警告



電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものをのせたり、はさみ込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

禁止



ぬれた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、操作しないこと

ぬれ手 感電の原因になります。

禁止



周辺のガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、換気すること

ガス栓閉 ガスが漏れた状態でコンセントを抜くと、火花により引火爆発します。



可燃性のスプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になります。

禁止



製品の上（機械室含む）に物（重量物、水を入れた容器）を置かないこと

落下しケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり漏電の原因になったり、ファンがロックし、異常発熱により火災の原因になります。

禁止



注出中は、注出ノズルの下に手や顔を入れないこと

高温注意 80℃以上の熱湯が出るため、やけどをする原因になります。



注出ノズルなどの組み付けは、確実に行うこと

組付確認 部品がはずれて、80℃以上の熱湯が思わぬ方向に注出され、やけどをする原因になります。



子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないこと

やけど、感電、ケガをする原因になります。

禁止



電源スイッチ（漏電遮断器）が、「OFF（切）」に作動した場合には、ホシザキ販売会社に連絡すること

無理に「ON（入）」にすると、感電や火災の原因になります。

連絡



異常時（焦げ臭いなど）は電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐにホシザキ販売会社に連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。

連絡

注意



電源プラグの抜き差しによる製品の運転・停止は行わないこと

感電やショートの原因になることがあります。

禁止



製品の排気口は、ふきんなどでふさがないこと

製品の放熱ができなくなり機械の故障などの原因になることがあります。

禁止



排水管に詰まりが無いか、年に1～2回点検を行うこと

排水点検 排水管が詰まると、漏水から周囲（家財など）をぬらす原因になります。

排水点検

衛生



手を清潔にしたうえで、各部の取り扱いやお手入れを行うこと

汚れた手で扱うと健康障害の原因になります。

清潔



ドリップパンにたまった水や飲料をあふれさせないこと

床面を汚す原因になったり、衛生上よくありません。

禁止



飲料以外の目的には使わないこと

故障などの原因になったり、衛生上よくありません。

禁止

■ 運転前の点検（毎日）

各部の点検

- 1 前日の終業時に飲料系路の洗浄や清掃がしてあり、各部品が所定の位置にきちんと取り付けてあるかどうか点検します。
もし、洗浄や清掃がしてなければ「お手入れと点検」（☞ 26 ページ）の項に従って、洗浄や清掃を行います。
- 2 給水バルブ（元栓）が開いていることを確認します。

原料パックの点検

⚠ 注意



賞味期限の過ぎた原料は使用しないこと
食中毒のおそれがあります。

禁止

原料パックについて

- 1 原料パックは、フロントカバーのスクリーンから残量を確認します。
- 2 原料が少なければ、「原料パックの交換」（☞ 19 ページ）に従って交換します。
- 3 原料パック接続部のジョイントコックが開いていること（レバーが縦になっている）を確認します。

■ 運転の手順

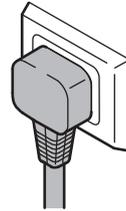
お知らせ

- リキッドディスペンサーの配管はお客様ごとに配管状態が異なるので、水道の元栓、給水バルブ、水抜きバルブなどの位置、操作方法については、事前に確認してください。
- 断水後は、配管に溜まった水を抜いてから運転してください。(☞ 23 ページ)
- 周囲温度が 0℃以下になり、凍結の恐れがあるときは使用を止め、水抜きをしてください。(☞ 25 ページ)

- 1** 給水配管の水抜きバルブが開いている場合は、水抜きバルブを閉じます。



- 2** 電源コードのプラグを専用コンセントに確実に差し込みます。



- 3** 給水バルブを開きます。



- 4** フロントカバーを開けてフロントパネルの電源スイッチ(漏電遮断器)を「ON (入)」にしてください。貯湯タンクの給水が始まります。



- 5** 貯湯タンクの水位が満水になり、湯が沸きあがると適温ランプと注出ボタンの文字が点灯し、飲料が注出可能になります。

お知らせ

- 適温ランプが消灯中は、飲料を注出できる湯温度や水位が不足しているため、飲料の注出はできません。

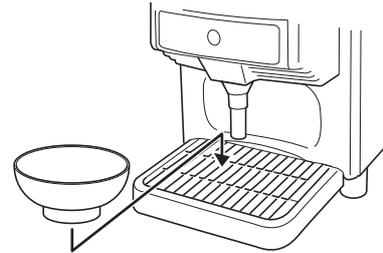
■ 運転のしかた

注出操作

飲料の注出操作

1 注出ボタンの文字が点灯していることを確認します。

2 容器を注出ノズルの下のグリルの上に置きます。



3 注出ボタンを押します。



4 注出ボタンの文字が点滅し、注出ノズルより飲料が注出します。

5 注出ボタンの文字の点滅が、点灯にかわり飲料の注出が完了してから、容器を取り出します。

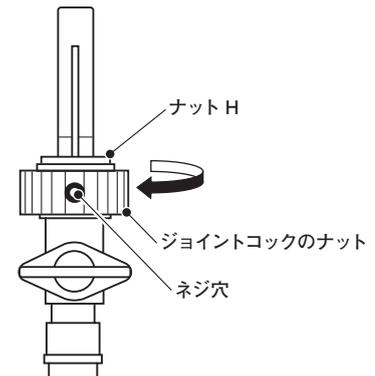
■ 原料パックの確認と調整のしかた

運転中に原料パックが空になりましたら、新しい原料パックと交換してください。詳しくは、「原料パックの交換」(☞ 19 ページ) を参照してください。

ジョイントコックの確認

原料パックのジョイントコック接続口は大小の2種類がありますので確認してください。ジョイントコック接続口が小さい場合は、下記要領にてジョイントコックとナットHを固定してください。

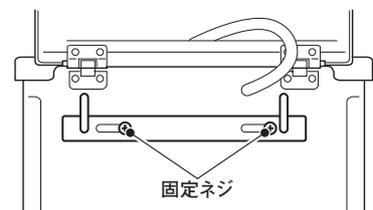
- 1 ジョイントコックのナット部にナットHをねじ込みます。奥までしっかりとねじ込みます。
- 2 ジョイントコックのナットにあるネジ穴(2か所)にネジを挿入して、ナットHが回らない様に固定します。
- 3 原料パックに接続して確認します。



ハンガーの調整

お客様がご使用になる原料パックに合わせてハンガーの位置を移動させてください。

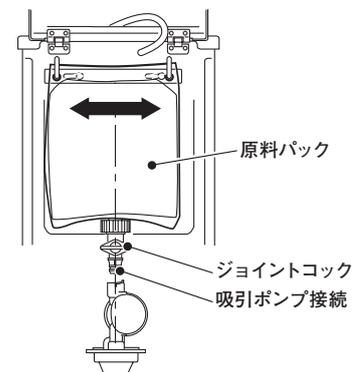
- 1 ハンガーの固定ネジをゆるめます。原料パックに、ジョイントコックを接続します。詳しくは、「原料パックの交換」(☞ 19 ページ) を参照してください。



- 2 原料パックをつるして、吸引ポンプ接続口とジョイントコックが直線になるようにハンガーを移動させ、固定します。

使用上の注意

- ハンガーの調整をしないと原料が正しく注出できない場合があります。



原料パックの交換

⚠ 注意



賞味期限の過ぎた原料は使用しないこと

食中毒のおそれがあります。

禁止

原料パックについて

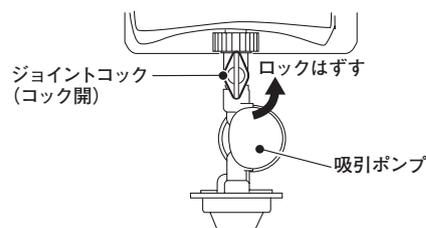
- 原料の残量は、各原料メーカーや原料パックのセッティングのしかたにより、多少違うことがありますので、飲料の濃さや、原料パックの状態を見て判断してください。
- 原料パック取り付け時に空気が入るとパック内の残量が多くなります。又空気によって飲料の濃さが変化したり、原料があっても注出しないことがあります。必ず空気抜きは行ってください。
- ジョイントコックは正しくセットしてください。正しくセットされていないと、原料が正しく注出されません。正しくセットされていない場合は、修正してください。

お知らせ

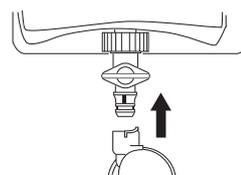
- 原料は、必ず当社指定のものをお使いください。
- 原料開封後は、変色や香りの劣化など商品性が低下しますので、お早めに消費してください。詳しくは原料メーカーにご確認ください。
- 原料パックの空気抜きをする場合、ジョイントコック部分に顔を近づけないでください。原料が飛び出して目に入るおそれがあります。
- 原料パックは接続口を上にして保管してください。空気が上にあがり、空気を抜きやすくなります。
- 原料パックを交換したら、必ず注出ボタンを2～3回押して飲料を注出し、ケーシング内を空のまま放置しないでください。吸引ポンプ内を空のまま放置すると、インペラの破損の原因となります。

原料パックの交換

- 1 フロントカバーを開けてジョイントコックを矢印の方向へ回してロックをはずします。



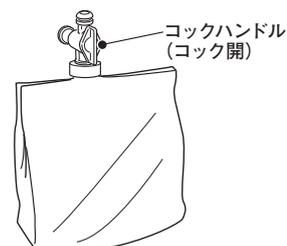
- 2 ジョイントコックを吸引ポンプから矢印の方向へ引っ張り外し、原料パックをハンガーからはずします。



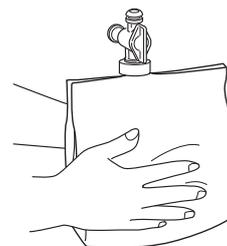
- 3 ジョイントコックを「開」にします。

- 4 ジョイントコックのナットを回して、空になった原料パックをはずします。汚れのひどい場合には洗浄します。

- 5** 新しい原料パックをつるした時に、コックハンドルが正面になるようにジョイントコックを取り付けます。

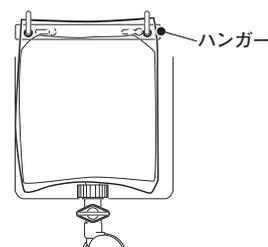


- 6** ジョイントコックを上にして、原料パックを置き、パック内の空気を上方に集め、原料パックを両側からゆっくり押し、空気を抜きます。



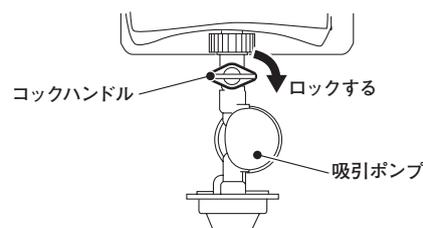
- 7** 原料がジョイントコック出口にきたらコックを「閉」にします。

- 8** 原料パックの穴をハンガーに通して原料パックをつるします。



- 9** ジョイントコックを吸引ポンプに取り付けます。

- 10** ジョイントコックのコックハンドルを矢印の方向へ回し、吸引ポンプにロックします。



- 11** ジョイントコックが正しく取り付けられているか、ジョイントコックを引き上げて抜けないことを確認します。

- 12** フロントカバーを静かに閉めます。半開きでは注出しません。

- 13** 注出ノズルの下に容器を置いて注出ボタンを押して飲料を2～3杯注出します。交換初期は濃度が安定しないことがあります。



注出量と濃度の調整

湯量・原料量・湯温度を個別で調整できます。

お知らせ

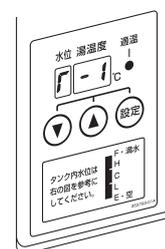
- 貯湯タンク満水時で調整してください。注出量がズれる場合があります。
- 注出量を確認する場合は、注出ノズルの下に容器を置いてください。
- 測定量を変更した後は必ず計量してください。正確に行わないと、設定した注出量と異なるおそれがあります。
- 注出量の設定時間表示は一応の目安ですから、実際には5回以上注出させて確認してください。
- 長時間待機した状態から注出すると、1杯目だけは設定量より少なくなることがありますが、故障ではありません。2杯目からは正常な量に戻りますので、そのままお使いください。

設定モードへの切替

1 電源スイッチ（漏電遮断器）が「ON（入）」に入っている状態で「設定」、「▽」、「△」、3つのボタンを5秒間同時に押し続けます。



2 設定モードに切り替わると、湯温度表示が「T-1」の点滅表示になります。



設定値と注出量の目安

この表は目安ですので、最終的には試飲のうえ設定時間を調整してください。（機器による個体差があります）

〈お湯注出量の目安〉

お湯注出量設定「T-1」を調節すると右表のお湯注出量になります。

お知らせ

「T-1」の設定値を1秒増やすとお湯注出量は約50 mL 増えます。

〈原料注出量の目安〉

原料注出量設定「T-2」を調節すると右表の原料注出量になります。

お知らせ

「T-2」の設定値を1秒増やすと原料の注出量は約11 g 増えます。

T-1	お湯注出量	T-2	原料注出量
2.5 秒	約 100mL	0.5 秒	約 6g
3.0 秒	約 125mL	1.0 秒	約 11g
3.1 秒	約 130mL	1.1 秒	約 12g
3.2 秒	約 135mL	1.2 秒	約 13g
3.3 秒	約 140mL	1.3 秒	約 14g
3.4 秒	約 145mL	1.4 秒	約 15g
3.5 秒	約 150mL	1.5 秒	約 17g
3.6 秒	約 155mL	1.6 秒	約 18g
3.7 秒	約 160mL	1.7 秒	約 19g
3.8 秒	約 165mL	1.8 秒	約 20g
3.9 秒	約 170mL	1.9 秒	約 21g
4.0 秒	約 175mL	2.0 秒	約 22g
4.5 秒	約 200mL	2.5 秒	約 28g

設定値の変更

- 1 「T-1」が点滅している状態で「設定」ボタンを1回押すと「T-2」の点滅表示に切り替わります。ボタンを押すたびに切り替わります。

▶「T-1」⇒「T-2」⇒「T-3」◀

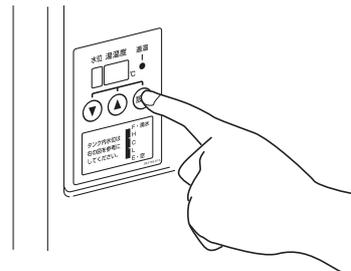
各表示の内容は下表の通りです。

表示	内容	出荷時	調整範囲
T-1	お湯	3.5 秒	0.5 ~ 7 秒
T-2	原料	2.0 秒	0 ~ 6.5 秒
T-3	湯温度上限	92℃	82 ~ 92℃

各設定値は、使用する原料の種類でお好みに合わせて設定してください。なお、原料の溶けを良くするため、原料の調整時間はお湯の調整時間より、0.5 秒以上短い時間でしか調整できません。

例) お湯を 3.5 秒にした場合、原料の調整時間範囲は 0 ~ 3 秒となります。

- 2 「T-1」の点滅表示をしているときに、「▽」または「△」ボタンを押すと「T-1」の設定値に表示が切り替わります。
- 3 設定値が表示された状態で、「▽」または「△」ボタンを押すと設定値が増減します。ボタンを押し続けると設定値が連続で増減します。
- 4 変更したい数値に設定した後、「設定」ボタンを1回押します。「T-2」の点滅表示に切り替わります。変更したい設定を表示させて、「▽」または「△」ボタンを押して設定値を変更します。変更のしかたは、手順3を参照してください。
- 5 各設定値を変更したら、「設定」ボタンを5秒間押し続けます。



- 6 湯温度表示に切り替わったら設定変更が完了します。

■ 断水の時

⚠ 衛生



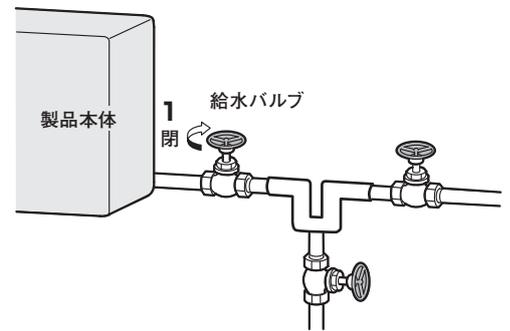
断水の際は、電源スイッチを「OFF (切)」にし、給水バルブを閉めること
開けておくと、通水時に「赤水*1」が発生し、不衛生の原因になります。

断水時
閉弁

注) *1 黄褐色や赤褐色に濁ったさびを含んだ水

断水の時

1 給水バルブを閉じます。



2 電源スイッチ (漏電遮断器) を「OFF (切)」にします。



3 断水が終了するまで待ちます。

停止のしかた

■ 停止の手順

⚠ 警告



電源スイッチ (漏電遮断器) が「ON(入)」のまま電源プラグを抜かないこと

禁止 感電の原因になります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

禁止 プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になります。

- 1 フロントカバーを開けてフロントパネルの電源スイッチ (漏電遮断器) を「OFF (切)」にします。

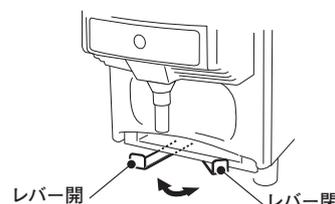


- 2 貯湯タンク内の湯を排水します。

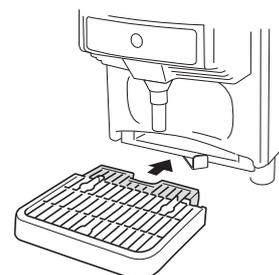
- ① ドリップパン・グリルをはずします。
詳しくは「毎日のお手入れ」(☞ 27 ページ) を参照してください。



- ② 排水レバーを「開」にして貯湯タンクの湯を排水します。



- ③ 排水レバーを「閉」にしてドリップパン・グリルを取り付けます。



- 3 給水バルブを閉じます。

お知らせ

- 運転終了時は給水バルブを閉じてください。通常は給水バルブが開いていても水漏れは起こりませんが、万が一部品が故障した場合には水漏れにより床をぬらす原因になります。



- 4 お手入れと点検を行います。(☞ 26 ページ)

水抜きのかた

■ 水抜きの手順

⚠ 注意



周囲温度が 0℃以下になり、凍結のおそれがあるときは必ず水抜きをすること
配管の破裂により水漏れし、周囲（家財など）を濡らす原因になります。

水抜き

⚠ 衛生



長期間（2日以上）停止させるときは水抜きをすること
水の腐敗から雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。

水抜き

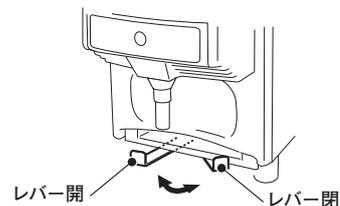
使用上の注意

- 水抜きを行っている間は、注出をしないでください。

1 電源スイッチ（漏電遮断器）を「OFF（切）」にします。

2 ドリップパン・グリルをはずし、排水レバーを「開」にして貯湯タンク内の湯を全て抜きます。

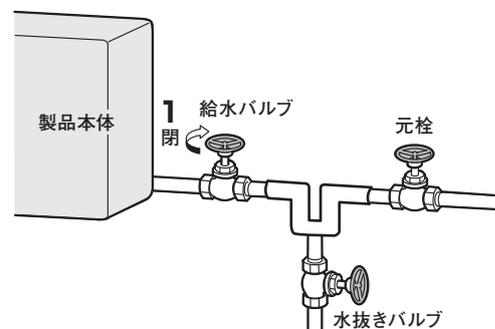
3 排水レバーを「閉」に戻し、ドリップパン・グリルを取り付けます。



4 元栓を閉じ、水抜きバルブを開きます。

5 電源スイッチ（漏電遮断器）を「ON（入）」にします。
水抜きバルブから配管内の水が抜けます。

6 水抜きバルブから水がでなくなったら、電源スイッチ（漏電遮断器）を「OFF（切）」にします。



お手入れと点検

⚠ 警告



電源を切る

お手入れや点検をするときは、必ず運転を停止し、元電源を切ること

感電したり、機械が動いたとき、ケガをする原因になります。



水ぬれ禁止

製品には直接水をかけないこと

ショート、感電、さび、故障・破損の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、電源プラグなど操作しないこと

感電の原因になります。



禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になります。



連絡

異常時(焦げ臭いなど)は電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐにホシザキ販売会社に連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。



連絡

電源スイッチ(漏電遮断器)が「OFF(切)」に作動した場合には、ホシザキ販売会社に連絡すること

無理にレバーを「ON(入)」にすると、感電や火災の原因になります。



分解禁止

修理技術者以外の方は分解したり、修理しないこと

異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



修理依頼

修理をするときは、ホシザキ販売会社に依頼すること

お客様での修理は、行わないこと。異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

⚠ 衛生



食品用中性洗剤使用

洗浄には食品用中性洗剤を使うこと

食品用中性洗剤以外の洗剤を使用した場合、健康障害などの原因になります。



清潔

手を清潔にしたうえで、各部の取り扱いやお手入れを行うこと

汚れた手で行うと健康障害の原因になります。

■ サービスマンによる安全点検のおすすめ

製品のご使用に支障がなくても、保証期間を過ぎてご使用されている場合は、水かかりや汚れによる電気部品の絶縁劣化、経年変化などにより、感電、火災、水漏れなどの原因になることがあります。ホシザキ販売会社に点検をご依頼ください。(有料)

点検内容

- 製品内部のほこりの堆積、水漏れ、汚れなど確認と対処
- 本体および使用部品の経年変化の状況など確認と対処
- 「点検・交換時期目安」の点検・交換項目の確認と対処
- 水経路の水垢・シリカ・石灰などの異物

■ 点検・交換時期目安

この製品を効率よくご使用いただくためには、定期的に点検・整備・交換が必要です。

点検は、運転開始後1年で点検交換、以降6か月に1回(年2回)ホシザキ販売会社に依頼してください。(有料)製品を長期間使用すると、温度、水質などの使用環境と経年変化により、水垢やカビ、さびなどが混入することがあります。製品は、定期的なお手入れを行い清潔に保ってください。また、お手入れや使用中に、異常を発生したら、ホシザキ販売会社にご連絡ください。

■ お手入れの概要

使用上の注意

- 終業時に必ずお手入れと点検を行ってください。
- 必要なときは「お手入れと点検」の各項を随時行ってください。
- 洗浄のときは部品をなくさないように注意してください。
水漏れしたり注出ができなくなります。
- 消毒用アルコールは食品用アルコール（70～75%）をお使いください。
- 次のようなものは使わないでください。
<塗装面やプラスチック面を傷めるもの>
シンナー・ベンジン・アルコール・石油・紛石けん・みがき粉・アルカリ性洗剤・酸・たわし・など。
特に換気扇・レンジなどに使用する強力な洗剤。
<錆の発生につながるもの>
塩素系漂白剤など。
- 化学雑巾を使用の際は、その使い方に従ってください。
- お手入れは清潔なふきんを使用し、清潔な手で行ってください。
- 食器洗浄機のご使用は控えてください。

■ 毎日のお手入れ

⚠ 警告



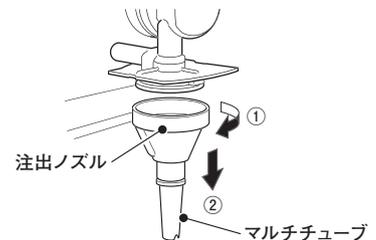
注出ノズルなどの組み付けは、確実に行うこと

部品がはずれて、80℃以上の熱湯が思わぬ方向に注出され、やけどをする原因になります。

組付確認

注出ノズルの洗浄

- 1 フロントカバーを開け、注出ノズルとマルチチューブを矢印①方向に回して、矢印②方向にさげてはずします。

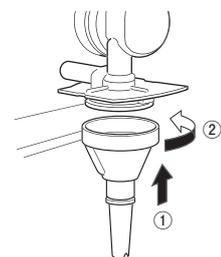


- 2 注出ノズルとマルチチューブをはずして、食品用中性洗剤を使用し、スポンジや付属品の洗浄ブラシで汚れを落とします。

- 3 洗剤分が残らないように、きれいな水で充分すすぎます。

- 4 注出ノズル、マルチチューブに消毒用アルコールを市販のスプレーボトルで散布して、乾します。

- 5 矢印①の方向へ押しあげ、ノズルストッパにかかるまで矢印②の方向にまわして取り付けます。

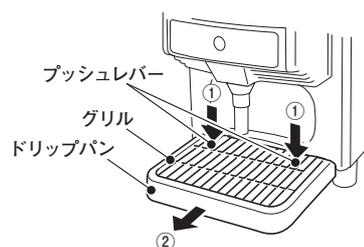


フロントパネルの洗浄

水で薄めた食品用中性洗剤をやわらかいふきんに含ませて汚れをふき取り、洗剤分が残らないようにふき取ってください。

ドリップパン・グリルの洗浄

- 1 ドリップパン・グリルを取りはずします。
グリル両端のプッシュレバーを軽く押した状態でドリップパンを引きはずします。
食品用中性洗剤を使ってスポンジで汚れを落とします。



- 2 洗剤分が残らないように、きれいな水で充分すすいでやわらかいふきんでふき取ります。

- 3 ドリップパン、グリルを取り付けます。
取り付けは、ドリップパンにグリルを取り付けた状態で本体にプッシュレバーのロックがかかるまで差し込みます。



■ 1週間に1回のお手入れ

使用上の注意

- インペラは1年毎の定期交換部品ですが、取り替え時期は運転率によって差異がありますので、早めに点検整備をしてください。不良のまま使用すると、原料の液だれや正確な注出ができなくなります。
- インペラは必ず運転を再開する直前に消毒用アルコールをスプレーしてからケーシングへ組み付けてください。
インペラはゴム製ですのでケーシング内へ原料がないまま放置したり、消毒用アルコールが付いた状態で組み付けて長時間放置すると、ケーシングへ密着してインペラが回らなくなったり、もしくはインペラの破損の原因となります。
- 原料パックが交換時期になると、正常な注出がされなくなります。すぐに新品の原料パックに交換してください。原料がなくなり空運転をすると、インペラの寿命を急激に低下させます。

貯湯タンクの水の入れ替え

⚠ 衛生



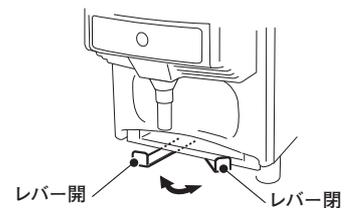
長期間（2日以上）停止させるときは水抜きをすること

水の腐敗から雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。

水抜き

週に1回は排水して、貯湯タンク内の水を入れ替えてください。定期的に排水しないと配管内にスケールが堆積して詰まる原因になります。

- 1 電源スイッチ（漏電遮断器）を「OFF（切）」にします。
- 2 ドリップパン・グリルをはずし、排水レバーを10秒間「開」にし、「閉」に戻します。
- 3 ドリップパン・グリルを取り付けます。
- 4 電源スイッチ（漏電遮断器）を「ON（入）」にします。

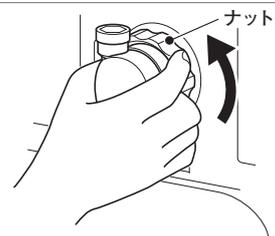


吸引ポンプの洗浄

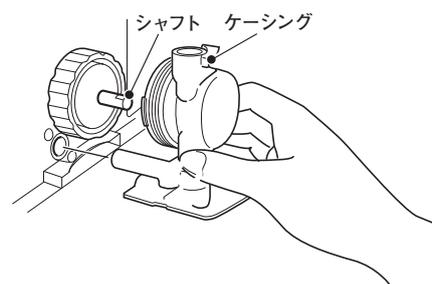
- 1 フロントカバーを開けて、原料パックをはずします。詳しくは「原料パックの交換」（☞ 19ページ）を参照してください。機械から取りはずした原料は冷蔵庫で保存してください。
- 2 注出ノズルの下に容器を置きます。
- 3 注出ボタンを押します。吸引ポンプ内に残っている原料を排出します。

4 原料が排出されなくなるまで手順3の操作を繰り返します。

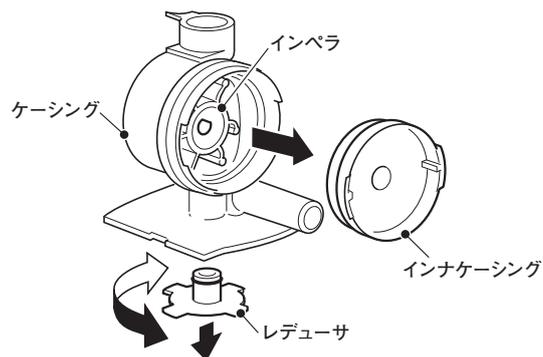
5 吸引ポンプを固定しているナットを矢印の方向に回し吸引ポンプを手前側に引きます。



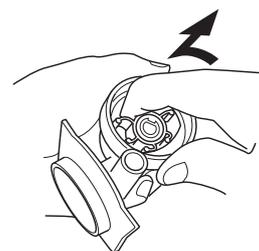
6 シャフトが汚れている場合には、水を含ませたフキンで汚れをふき取り、その後、乾いたふきんで水分をふき取ります。



7 ケーシングからインナケーシング、レデューサを取り外します。レデューサは回しながら下に引くと外れます。



8 ケーシングからインペラを外します。その際、インペラの羽根の間に指を入れ、矢印の方向へ回しながら手前に取り外します。

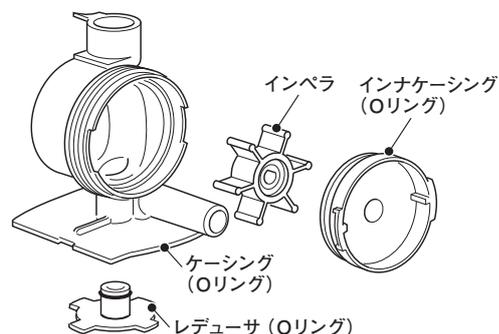


9 吸引ポンプの部品は食品用中性洗剤を使い、スポンジや付属の洗浄ブラシで汚れを落とします。

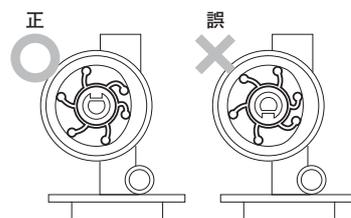
10 洗剤分が残らないようにきれいな水で十分すすぎ、使用するまで清潔なところに保管します。

吸引ポンプの取り付け

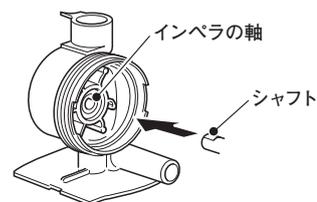
- 1 すべての部品が不足なくそろっていることを確認します。



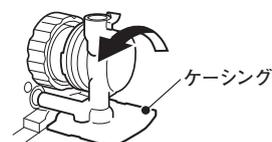
- 2 ケーシングにインペラを取り付けます。インペラは回転方向に合わせて取り付けてください。



- 3 ケーシングに取り付けたインペラの軸とシャフトの形を合わせ、製品本体に取り付けます。



- 4 ケーシングが通常使用時の位置になるまで、矢印方向に回します。



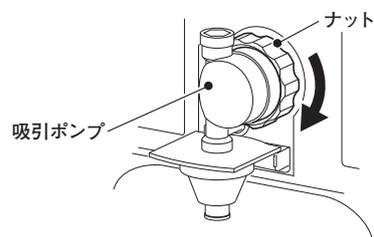
- 5 製品本体からケーシングを外し、各部品にアルコール消毒を行います。

- 6 インナケーシングを取り付け、再度製品本体に取り付けます。

- 7 ナットを手前に引きながら矢印方向に回してケーシングを取り付けます。この時、ナットが斜めに入らないように注意してください。

お知らせ

- インナケーシングのはめ込みが浅いとナットが入りません。



- 8 注出ノズル、マルチチューブを取り付けます。詳しくは、「注出ノズルの洗浄」(☞ 27 ページ) を参照してください。

- 9 原料パックを取り付けます。詳しくは「原料パックの交換」(☞ 19 ページ) を参照してください。

インペラの確認

インペラは、原料を正しく注出するために大切な部品です。不適切な状態で使用しますと、定量にバラツキが生じたり、原料ダレが起こりますので、正常な状態であることを必ずご確認ください。

- インペラに折れ、亀裂がないか確認してください。
折れ、亀裂があるばあいには、交換してください。



■ よごれが目立つときのお手入れ

ラベル、フロントカバー、サイドパネルなどのお手入れ

やわらかいふきんでふいてください。また、汚れのひどいときは、水で薄めた食器用中性洗剤をやわらかいふきんに含ませてふき取り、洗剤分が残らないようにふき取ってください。汚れの都度、清潔にしてください。

■ 1 か月に 1 回の点検

漏電遮断器機能の点検

⚠ 警告



漏電遮断器の機能は月に 1 回、動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。

動作点検

1 電源スイッチ（漏電遮断器）のテストボタンを押します。

⇒元電源（漏電遮断器）が「OFF（切）」に切り替われば正常です。

- 「OFF（切）」に切り替わらない場合は、すぐにホシザキ販売会社にご連絡ください。



■ 1年に1～2回の点検

アース線・電源プラグ・コードの点検

⚠ 警告



電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

点検掃除 ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。

調べるところ	処置方法
(1) アース線が切れたり接続部が緩んでいませんか？	異常の場合は、ホシザキ販売会社、または電気工事業者に修理を依頼してください。
(2) 電源プラグやコードに異常な発熱や破損、重い物がのったり、はさみ込まれたりしていませんか？	異常の場合は、すぐにホシザキ販売会社に修理を依頼してください。
(3) 電源プラグの刃と刃の取り付け面および専用コンセントにほこりがついていませんか？ 	ほこりがついていている場合は、掃除をしてください。
(4) 電源プラグが専用コンセントに入っていますか？	他の機器と共用している場合は、専用コンセントにしてください。
(5) 電源は専用電源を使用していますか？	他の機器と共用している場合は、専用電源にしてください。

給水配管、排水配管の点検

傷、変形、水漏れ跡（しみ）がないか点検してください。
上記について異常が見られる場合は、ホシザキ販売会社へご連絡ください。

■ 消耗品・定期交換部品

この製品には、消耗品はありません。下表の部品は定期的な交換が必要です。

部品名	交換時期の目安
インペラ	1年 運転率によって差異がありますので 早めに点検してください。

お知らせ

- インペラを交換されたら、すぐに販売会社へ注文し、必ず1個は手元に準備しておいてください。

長期停止

⚠ 警告



1週間以上ご使用にならない場合は、電源スイッチ（漏電遮断器）を「OFF（切）」にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

プラグを 漏電、発熱、発火の原因になります。
抜く

⚠ 衛生



長期間（2日以上）停止させるときは水抜きをすること

水の腐敗から雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。

水抜き実施

お知らせ

- 凍結の原因になりますので水抜きをしてください。（☞ 25 ページ）

1 「■停止の手順」に従って、運転を停止します。（☞ 24 ページ）

2 「■お手入れの概要」に従って、以下のお手入れをすべて行います。（☞ 27 ページ）

- (1) 毎日のお手入れ
- (2) 1週間に1回のお手入れ

3 再開するときは、「■運転の手順」に従って、運転をします。（☞ 16 ページ）

アフターサービス

⚠ 警告



修理技術者以外の人は分解したり、修理しないこと

分解禁止 異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



修理をするときは、ホシザキ販売会社に依頼すること

修理依頼 お客様での修理は、行わないこと。異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

修理・お取り扱い・お手入れ・転居などのご相談は、ホシザキ販売会社にお申し付けください。

■ 保証書(ホシザキ販売会社発行)

設置年月日(お買い上げ年月日)・販売会社名などの記入を必ず確認し、ホシザキ販売会社にご連絡ください。

保証期間は、設置年月日より1年間です。

■ 補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後9年です。

お知らせ

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保守制度のおすすめ

当社の保守制度へのご加入をおすすめいたします。これは定期的に点検整備を行い、常に安定した性能を維持して、ご使用いただくための制度です。詳細はホシザキ販売会社にお問い合わせください。

■ 修理を依頼されるとき

- 「修理を依頼される前に」に従って調べていただき、なお異常があるときは、必ず元電源(過負荷保護付漏電遮断器)を「OFF(切)」にして、ホシザキ販売会社にご連絡ください。(裏表紙)

ご連絡いただきたい内容

- 形名(ネームプレートに記載)
- 製造番号(ネームプレートに記載)
- 設置年月日(保証書に記載)
- 故障状況(できるだけ具体的に)
- お客様名
- ご住所
- お電話番号

保証期間中の修理

保証書の規定に従って、ホシザキ販売会社が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

保証期間満了後の修理

保証期間満了後は、修理によって製品の性能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料で修理いたします。

■ ネームプレート貼り付け位置

この製品についてお問合せいただく場合は、このネームプレートに記載されている形名をお知らせください。



お手入れと点検

長期停止
アフターサービス

■保証とサービス

1 この製品には、保証書がついています

- (1) 保証書はホシザキ販売会社で発行します。必ずお受け取りいただき、よくお読みになり大切に保管してください。
- (2) 転居などで修理の依頼先がご不明の場合は裏表紙に記載のホシザキ販売会社にご相談ください。

2 保証修理について

以下は保証書と同一内容です。

1. 保証修理の内容

この保証は、保証書表記載のこの製品を構成する後記3.に記載する保証部品について、当社の責任により不具合が発生した場合に、この保証書に記載する期間と条件に従って、この無料修理（この無料修理を「保証修理」といいます。）をお約束するものです。保証修理は、部品の交換または補修により行います。なお、保証修理時に取り外した不具合部品は、当社の所有となります。

2. 保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、ホシザキ販売会社にご連絡ください。ホシザキ販売会社のサービスマンがお伺いした際、この保証書をご提示のうえ、保証修理をお申し付けください。保証書を提示されない場合、保証修理をお受けいたしかねます。

3. 保証部品

この保証書に基づく保証の対象となる部品（保証部品といいます。）は、この説明書に記載する消耗品を除いたものです。

4. 保証期間

保証修理を受けられる期間（保証期間といいます。）は、保証書表記載のとおりです。なお、交換部品として新たに装着した部品についての保証期間は、この保証書の期間満了時までとします。

5. お客様にお守りいただく事項

お客様がこの製品の取扱説明書、この製品に貼付されたラベルその他の注意書きに従って、正しい使用・お手入れがなされている場合に、保証修理をいたします。これらが守られていない場合は、保証修理をお断りすることがありますので、ご承知おきください。

- (1) この説明書に記載する取扱方法、貼付ラベルその他の注意書きに従った正しい使用・お手入れ
- (2) 法令等で定められた安全性確保に関する日常および定期的な点検整備
- (3) この説明書に記載する消耗品の交換、および定期交換部品の指定どおりの交換

6. 保証しない事項

- (1) 以下の現象等、不具合と認められないものは、保証修理いたしません。
 - 通常の使用損耗および経年変化により発生する現象（樹脂部品、塗装面、メッキ面等の自然退色・劣化・剥離等）
 - この製品の性能上問題がないことが一般的に認められている現象等（通常の運転音、振動、操作フィードリング等）

- (2) 以下の不具合は、外的要因によるものであり、当社の責任による不具合ではありませんから、保証修理いたしません。

- 地震・風水害・落雷等の自然災害、火災による罹災事故、公害・塩害・有毒ガス・薬品・異常電圧等を原因とした不具合
- 給排水管の破損、異物の詰りによる不具合
- 給水、給電が行われなかったことに起因する不具合
- お客様の故意・過失により生じた不具合
- ホシザキ販売会社以外の第三者が、修理または改造等したことによる不具合
- 不具合の原因が、この製品以外の部分にある場合の不具合
- 寒冷時における製品内の凍結による不具合
- 車両、船舶等の揺れ動く場所での使用による不具合

- (3) 以下の不具合は、適切な点検・整備・お手入れまたは正しい使用・管理等がなされていないことに起因するものですから、保証修理いたしません。

- 法令等で定められた安全性確保に関する日常および定期的な点検整備の未実施に起因する不具合
- この説明書に記載する取扱方法、貼付ラベルその他の注意書きに従った正しい使用・お手入れの未実施に起因する不具合
- この説明書に記載する消耗品の交換、および定期交換部品の指定どおりの交換の未実施に起因する不具合
- 通常の注意で発見・処置できたにもかかわらず、放置した事により拡大した不具合
- 当社の指定する部品以外の部品・原材料または洗剤等を使用したことに起因する不具合

- (4) 保証修理以外に、以下の費用については、この保証書に基づいて当社が負担することはいたしません。

- この製品を使用できなかったことによる賠償費用
- 自らまたはホシザキ販売会社以外が修理した場合の修理費用

7. 別途費用

以下の費用については、別途、お客様の費用負担としてご請求申しあげます。

- (1) 保証修理を行うため、離島または離島に準ずる遠隔地に赴く場合の旅費（航空運賃・乗船運賃・宿泊費等）
- (2) 取扱説明書に記載する消耗品および定期交換部品の費用（作業費を含む）

8. 保証の発効

この保証は、機種、機番、設置年月日が記入されていることにより有効となります。

9. 保証の失効

この保証は、保証書に記載する保証期間が満了した時に、効力を失います。また、保証期間であっても、製品が日本国外に持ち出された時には、効力を失います。

10. その他

- (1) この保証は、日本国内においてのみ有効です。
- (2) この保証書は、再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- (3) この保証書は、この保証によって、お客様の権利を制限するものではありません。

※ This warranty is valid only in Japan.

08A

修理を依頼される前に

「故障かな?」と思われたときは、以下の項目に従って調べてください。

なお異常があるときは、電源プラグを抜くか元電源を切って、ホシザキ販売会社にご連絡ください。(☎ 裏表紙)
修理は専門の技術が必要です。

お客様での修理は行わないでください。

■ 動作の異常

こんなときは	調べるところ	処置方法
動かないとき	(1) 電源プラグがはずれているか、元電源が切れていませんか?	電源プラグをコンセントに根元までしっかりと差し込み元電源を入れてください。
	(2) 停電していませんか?	通電するのを待ってください。
	(3) 漏電遮断器が切れていませんか?	「OFF (切)」している場合は、ホシザキ販売会社へすぐに連絡してください。
適温ランプが点灯しないとき	(1) 初期動作中ではありませんか。	貯湯タンク水位が満水になってタンク内温度が設定温度になるまでお待ちください。
飲料が注出できないとき	(1) 適温ランプが点灯しているか確認してください。	詳しくは、「運転の手順」(☎ 16 ページ)を参照してください。
飲料濃度が薄くなったとき	(1) 原料が空になっていないか点検してください。	原料が空の場合は、新しい原料パックと交換してください。詳しくは、「原料パックの交換」(☎ 19 ページ)を参照してください。
	(2) 原料の設定値が極端に小さくなっていないか確認してください。	詳しくは、「注出量と濃度の調整」(☎ 21 ページ)を参照してください。
	(3) 吸引ポンプの各接続部が正確に取り付けられているか確認してください。	はずれている場合は、接続してください。詳しくは、「原料パックの交換」(☎ 19 ページ)を参照してください。
	(4) インペラが正常かどうか確認してください。	詳しくは「インペラの確認」(☎ 32 ページ)を参照してください。
	(5) インペラに異常が見られる場合	ホシザキ販売会社に連絡し部品を交換してください。
原料が液だれするとき	(1) インペラが正常かどうか点検してください。	詳しくは、「インペラの確認」(☎ 32 ページ)を参照してください。 インペラに異常が見られる場合は、ホシザキ販売会社に連絡し部品を交換してください。
	(2) 吸引ポンプのネジの締め付けがゆるんでいないか点検してください。	ゆるんでいましたら、締め付けなおしてください。
	(3) 注出ノズルを取りはずしてレデューサがはずれていないか点検してください。	詳しくは、「お手入れと点検」(☎ 26 ページ)を参照してください。 レデューサがはずれていましたら取り付けてください。

お手入れと点検

サービスマン

知っておいてください

修理を依頼される前に

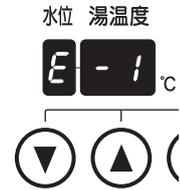
こんなときは	調べるところ	処置方法
原料だけが注出できないとき	(1) ジョイントコックが閉ま っていないか確認してく ださい。	詳しくは、「原料パッキの交換」(☞ 19 ページ) を参照 してください。
	(2) インペラが正常かどうか 点検してください。	詳しくは「インペラの確認」(☞ 32 ページ) を参照して ください。インペラに異常が見られる場合は、ホシザキ 販売会社に連絡し部品を交換してください。
	(3) 吸引ポンプのネジの締め 付けがゆるんでいないか 点検してください。	ゆるんでいましたら、締め付けなおしてください。 詳しくは、「吸引ポンプの取り付け」(☞ 31 ページ) を 参照してください。
お湯だけが注出できな いとき	(1) フロントカバーを開けて、 注出パイプが湯注出に正 しく取り付けられている か確認してください。	詳しくは、「吸引ポンプの取り付け」(☞ 31 ページ) を 参照してください。

- 上記を確認し、それでも異常があるときは、ホシザキ販売会社にご連絡ください。

■ エラーメッセージ

異常表示記号

湯温度表示セットパネル内の表示部に次の記号が表示したときは異常が起きています。



異常表示記号	異常の内容	処置方法
E-1	ヒータ異常 サーミスタ異常	<ul style="list-style-type: none"> 排水レバーが開いたままになっていませんか？排水レバーを閉じてください。上記原因を取り除いてから異常表示記号の解除を行ってください。 排水レバーが閉まっていた場合には、ただちにホシザキ販売会社へ連絡してください。
E-2	給水が正常に行われていません。	<ul style="list-style-type: none"> 排水レバーが開いたままになっていませんか？排水レバーを閉じてください。 給水バルブ（元栓）が閉じていませんか？給水バルブ（元栓）を開けてください。 断水ではありませんか？電源スイッチ（漏電遮断器）を「OFF（切）」にしてください。断水が終わったことを確認して電源スイッチ（漏電遮断器）を「ON（入）」にしてください。 <p>上記原因を取り除いてから、異常表示記号の解除を行ってください。</p>

「E-3」が点滅、点灯したとき

湯温度表示セットパネル内の表示部に「E-3」が点滅、点灯したときは、電源スイッチ（漏電遮断器）を「OFF（切）」にして、ただちにホシザキ販売会社にご連絡ください。

異常表示記号	異常の内容	処置方法
E-3	水位スイッチ異常	<ul style="list-style-type: none"> ホシザキ販売会社に連絡してください。

異常表示記号の解除のしかた

異常表示の原因を取り除いてから行ってください。

- 1 電源スイッチ（漏電遮断器）を「OFF（切）」にします。
- 2 表示パネルにある「設定」、「▽」、「△」ボタンを押しながら、電源スイッチ（漏電遮断器）を「ON（入）」にします。
- 3 温度表示に切り替わったら解除が完了します。
- 4 異常表示の原因を取り除き、異常表示のリセット後、再度異常表示が表示される場合は電源スイッチ（漏電遮断器）を「OFF（切）」にして、ただちにホシザキ販売会社へ連絡してください。

知
っ
て
お
い
て
く
だ
さ
い

修
理
を
依
頼
さ
れ
る
前
に

仕様

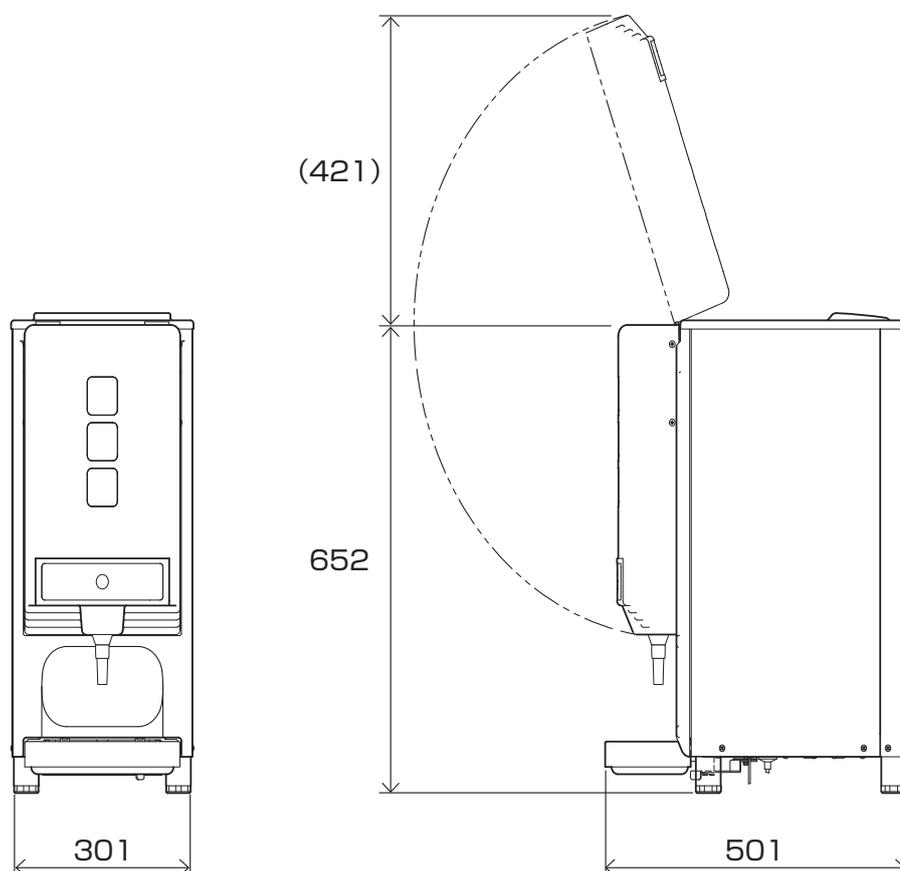
■仕様

この製品は、日本国内仕様です。

形名	DL-1HTF
電源	単相 100V 50/60Hz 容量 1.2kVA(12A)
昇温時間 (水温 10℃、周囲温度 25℃)	110分
注出能力*1 (周囲温度 25℃、給水水温 10℃、注出温度 75℃以上、 お湯 150mL / 杯、(みそ 20g / 杯、湯温度設定 92℃)	ピーク時 約 80 杯 (1 杯 / 10 秒) + 連続 1 杯 / 70 秒 通常時 約 156 杯 (1 杯 / 30 秒)
飲料回路	1 回路
飲料注出	定量注出
貯湯タンク容量	約 15L (有効貯湯量 約 12L)
ヒータ容量	1.0kW
外形寸法	幅 301 × 奥行 501 × 高さ 662 (~ 667) mm
外装	正面、天板：樹脂 キャビネット：カラー鋼板
製品質量	20kg
使用条件	屋内設置、周囲温度 5 ~ 35℃、電圧変動：定格電圧の ± 10% 給水圧 0.05 ~ 0.78MPa、水温 5 ~ 30℃

* 1 この数値は、一定条件での試験による値であり一般の使用では異なる場合があります。

■外形寸法



据付工事説明

警告



据付工事は専門業者がこの据付工事説明に従って実施すること

専門業者 据付工事完了後試運転を行い、異常がないことを確認し、取扱説明書に従ってお客様に使用方法・お手入れのしかたを説明してください。

も く じ

開梱	42
■ 開梱のしかた	
■ 固定テープの除去	
■ 保護シートの除去	
■ 点検	
運搬	43
■ 運搬のしかた	
設置	44
■ 設置場所	
■ 設置のしかた	
■ POP レールの取付方法	
電気工事	49
■ アース線の接続	
■ 電源ラインの接続	
配管工事	50
■ 給水工事のしかた	
■ 排水工事のしかた	
■ 給排水配管例	
■ 配管工事終了の確認	
試運転	53
■ 試運転前の準備	
■ 運転動作確認	

開梱

■ 開梱のしかた

⚠ 警告



開梱は、床が丈夫で平らなところで行うこと

専門業者 不安定なところでは、製品転倒によるケガの原因になります。



梱包用ビニール袋は、子供の手の届かないところに保管または廃棄すること

注意

子供が梱包用ビニール袋をかぶって、窒息する恐れがあります。

⚠ 注意



梱包用バンドを持って荷扱いしないこと

バンドが切れ、ケガをしたり、製品が破損する原因になります。

禁止

使用上の注意

- 製品を 45° 以上傾けないでください。故障の原因になります。

1 梱包内の付属品を取り出します。

■ 固定テープの除去

外装に貼ってある固定テープをはがしてください。

お知らせ

- POP 用の目印テープは POP レール取り付け後にはがしてください。

■ 保護シートの除去

外装に貼ってある保護シートをはがしてください。そのままにしておくと、はがれなくなります。直射日光にあてたときは、冷えてからはがしてください。

お知らせ

- ラベル類ははがさないでください。

■ 点検

1 外装などの外周りや、内装部品に傷や破損がないことを点検します。

2 取扱説明書の「付属品」を見て、不足部品、傷、破損がないことを点検します。(👉 12 ページ)

お知らせ

- 点検の結果、不足部品、傷、破損があれば、ホシザキ販売会社に連絡してください。

運搬

■ 運搬のしかた

⚠ 注意



ドリップパンをはずして、底を持って運搬すること

運搬 不用意に運搬しますと、ケガをすることがあります。

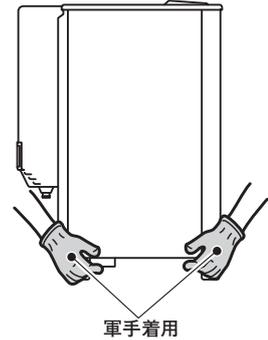


製品を移動するときは、軍手をして本体底面を持って行うこと

運搬 ケガの原因になります。

使用上の注意

- 製品を 45° 以上傾けないでください。故障の原因になります。



設置

■ 設置場所

⚠ 警告



屋外に据え付けないこと

雨水のかかる場所で据え付けると、漏電、感電の原因になります。

禁止



水がこぼれても支障のない場所に据え付けること

設置

飲料水がこぼれる場合があります。



据え付けは、製品質量に十分に耐える場所に行うこと

強度確認 強度不足の場所に設置すると、床の陥没などにより、ケガをしたり、建物に被害を与える原因になります。



火気の近くに据え付けないこと

熱でプラスチックが溶けたりして、火災の原因となります。

禁止



湿気が多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

湿気禁止 絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



可燃ガスの漏れる恐れがある場所に据え付けないこと

禁止

ガスが漏れ、製品の周囲に溜まると、発火、爆発の原因になります。

⚠ 注意



床面が丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

水平設置 据え付けに不備があると、水漏れや振動による騒音などの原因になります。



凍結の恐れがある場所へは据え付けないこと

禁止

周囲温度が0℃以下になり、凍結の恐れがあるときは、必ず水抜きをしてください。給水管の破損から水漏れし、周囲（家財など）をぬらす原因になります。

使用上の注意

- 風通しのよい所に排気口をふさがないように据え付けてください。性能の低下や故障の原因になります。

設置条件

- 使用範囲は、周囲温度 5 ~ 35℃です。
- 本体設置スペースは、設置条件により若干異なることがあるため、10mm 程度余裕をとってください。（給排気スペース・配管スペースなどは本体設置スペースとは別に確保が必要です。）
- やむをえず直射日光のあたる場所に設置するときは、必ず日除けを付けてください。

■ 設置のしかた

水平に調整

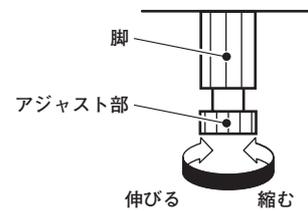
⚠ 注意

- ❗ **アジャスト脚の高さは、0～15mmの範囲で調節すること**
15mmを超えると、アジャスト脚の強度が下がります。また、アジャスト部が外れることがあり、思わぬケガの原因になります。

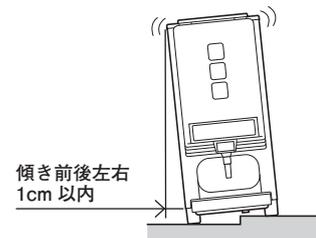
お知らせ

- 据え付けに不備があると、水漏れ、転倒、落下によるケガの原因になることがあります。

- 1 設置場所に置いてから、製品がガタつかず垂直になるようにアジャスト部を回し、調整します。



- 2 丈夫で平らな床に据え付けます。

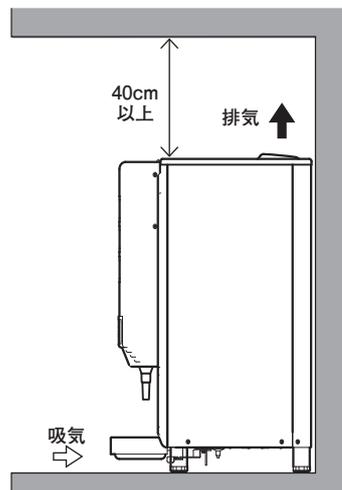


製品周囲のすき間

壁や物と製品とのすき間は、下図のようにします。

お知らせ

- 機械室をふさがないようにし、風通しをよくしてください。
すき間がないと、排熱が悪くなり、加熱能力の低下や故障の原因になることがあります。

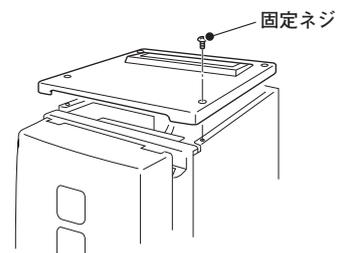


スケールガードの取り付け

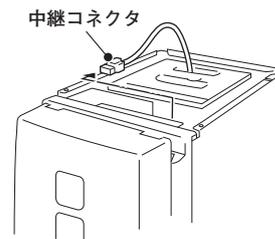
- 使用する水道水の全硬度が高い場合は、設置時にスケールガード（付属品）を貯湯タンク底部に置くことをお勧めします。
スケールガードを使用しないと、貯湯タンク底部にスケールが堆積して、異音を発生させるおそれがあります。
- スケールガードを取り付けると、湯排出と同時にスケールが機外へ排出されます。週 1 回は排水バルブを開いて、貯湯タンク内の水を入れ換えてください。定期的に排水を行わないと、配管内にスケールが堆積して、詰まるおそれがあります。
- 水道水の全硬度の値が不明なときは、ホシザキ販売店へ相談してください。

1 電源スイッチを「OFF（切）」にします。

2 リキッドディスペンサーのトップパネル固定ネジ（4 本）を取りはずして、トップパネルを取りはずします。



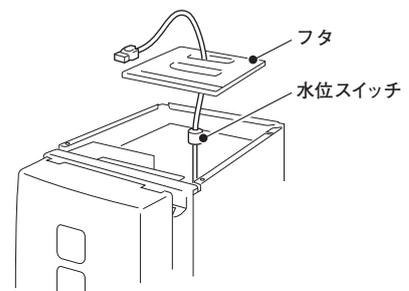
3 水位スイッチの信号線の中継コネクタをはずします。



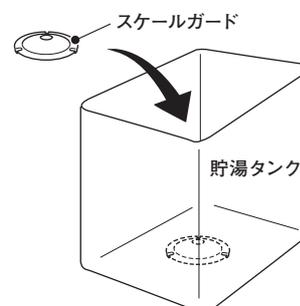
4 貯湯タンクのフタを持ち上げてはずします。このとき、水位スイッチを変形させないように注意してください。

使用上の注意

- 中継コネクタを引っ張らないように注意してください。



5 貯湯タンク底部の落ちこんでいる部分に、スケールガードを右図の位置に置きます。



6 逆の手順で貯湯タンクのフタを固定し、信号線の中継コネクタを接続し、トップパネルを固定します。

使用上の注意

- 貯湯タンクのフタの取り付け方向を間違えないように注意してください。

POP レールの取付方法

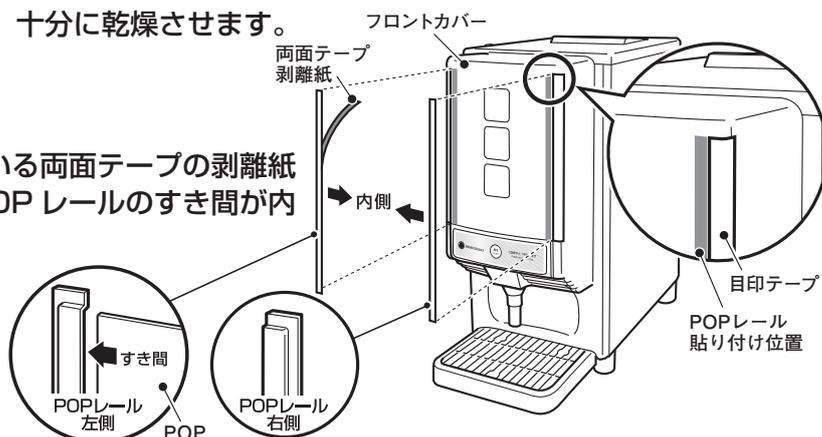
取り付けかた

本製品はフロントカバー部にA4サイズのPOP(お客様にて準備)を差し込むことができます。使用される場合は、下記の手順にしたがってPOPレールを取り付けてください。

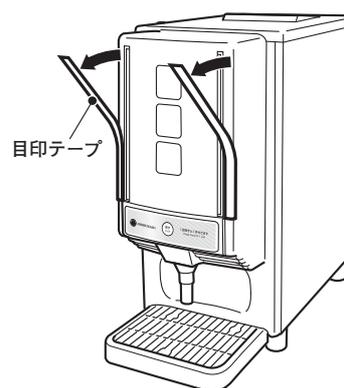
1 フロントカバーの汚れをふき取り、十分に乾燥させます。

2 付属のPOPレール裏面に付いている両面テープの剥離紙をはがし、目印テープに沿ってPOPレールのすき間が内側にくるように貼り付けます。

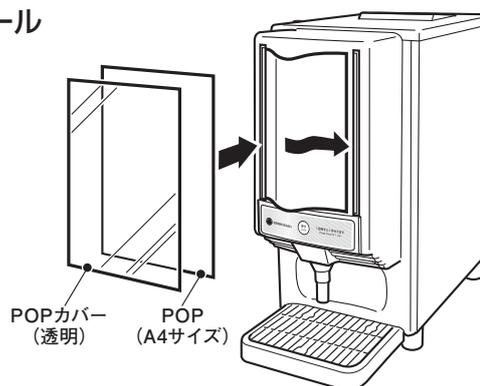
- 貼り付け時は、力を入れてしっかりと密着するように貼り付けてください。



3 POPレールを2本貼り付けたら、目印テープをはがします。



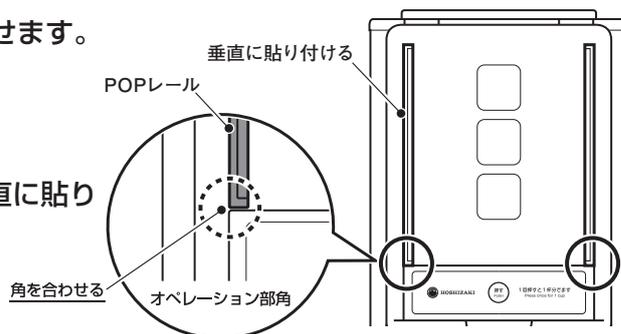
4 POP (A4サイズ) とPOPカバーをたわませてレールに差し込みます。



使用途中から POP を取り付けたい場合（テープがない状態）

1 フロントカバーの汚れをふき取り、十分に乾燥させます。

2 オペレーション部角に POP レールを合わせ、垂直に貼り付けます。

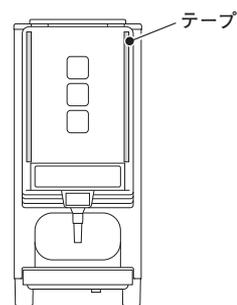


使用上の注意

- POP レールに直接水や洗剤をかけないでください。POP レールがはがれやすくなります。はがれた場合は、市販の両面テープを使用するか、部品交換をしてください。

POP を使用しない場合

1 フロントカバーのテープをはがし、取り除きます。



電気工事

警告

! 電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの据付工事説明に従って施工し、必ず専用回路（過負荷・短絡保護あり）を使用すること
電源回路不良、容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になります。

! 電気工事を始める前に、元電源を切ること
元電源切 切った元電源には、この先で仕事をしているので電源を入れるな、という意味の標識を取り付けてください。感電の原因になります。

! 電源は専用電源を使用すること
電源コードは途中で接続したり、延長すると、感電や発熱、火災の原因になります。

禁止 電源コードを傷つけないこと
電源コードが破損すると、感電、火災の原因になります。

ぬれ手禁止 ぬれた手で電気部品に触れないこと
感電の原因になります。

! 電源プラグは確実に差し込むこと
接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。

注意

! 電源電圧は定格電圧の 90 ~ 110% の範囲内とすること
この範囲以外では発煙、発火、機械の故障や能力低下を招く原因になることがあります。

電圧

■ アース線の接続

警告

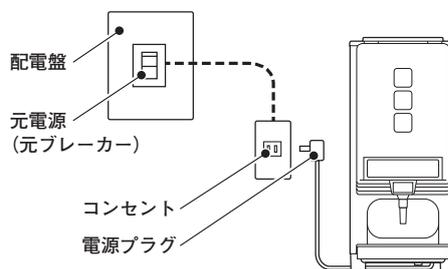
! アース工事を行うこと
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないこと
電気工事業者による D 種接地工事が必要です。（アースが不完全な場合は、感電の原因になります。）

アース線の接続を行ってください。この製品には、アース線が取り付けられています。緑色または黄色の電線がアース線です。

■ 電源ラインの接続

単相機（単相 100V）

元電源（元ブレーカー）の容量は、取扱説明書の「仕様（電源容量）」に従ってください。（☞ 40 ページ）



配管工事

⚠ 注意



凍結の恐れがある場所へは据え付けないこと

配管の破裂により水漏れし、周囲（家財など）をぬらす原因になります。

禁止

配管材

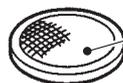
給水配管は、地域の水道法の基準に適合しているフレキシブル管、硬質塩化ビニール管、硬質塩化ビニールライニング鋼管などをお使いください。

排水管は約 90°Cのお湯が排水されますので、耐熱性のあるステンレス管、または鋼管をお使いください。

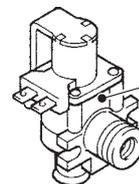
配管類の洗浄

配管類は、接続する前に十分洗浄してください。

配管類には、切り粉、切削油、異物などが付着しています。これらが混入すると、フィルターや製品内部のウォーターバルブが詰まることがあります。



フィルター



ウォーターバルブ

配管接着部

配管類は、シール材、シール用テープなどを使用して、水漏れがないように接続してください。

シール材は、配管が詰まったり、水ににおいが付くようなものは使用しないでください。

■ 給水工事のしかた

給水管について

- 給水元には必ず止水・保守用の元栓と給水バルブを取り付けてください。
- 給水配管の最下部に、水抜きのための水抜きバルブを取り付けてください。
- 管路の途中でエアポケットができないように配管してください。

使用水

⚠ 注意



製品に使用する水は、必ず水道水を使用すること

水道水 水道水以外を使用すると、健康障害の原因になります。



取水源に貯水槽、浄化装置がある場合は水質に注意すること

水質

使用上の注意

- 給水圧は 0.05 ~ 0.78MPa の範囲内で使用してください。
- 給水圧が 0.78MPa を超える場合は、減圧弁を取り付けてください。
- 給水圧が 0.05MPa 以下の場合は加圧ポンプを使用してください。

■ 排水工事のしかた

お知らせ

- 排水管は、できるだけ短く、曲がり数が少なく、下げ勾配を持たせ、途中で排水口より高い部分ができないようにしてください。
- 逆流を防ぐため、排水管は間接排水とし下水管に直結しないでください。必ず、排水管先端と排水溝の間を 5cm 以上あけてください。
- 直接床に排水してから排水溝に流し込むことは、絶対に避けてください。床のゴミなどを巻き込んで排水溝を詰まらせたり、思わぬ方向へ流れる原因になります。
- 排水配管は、十分な排水能力を確保してください。部品が故障した場合は、連続的に排水することがあります。十分な排水能力がない場合には、床が水で濡れ、周囲（家財など）を濡らす原因になります。
- 排水配管は十分な耐熱性を確保してください。1 週間に 1 回、貯湯タンク内の約 90℃のお湯を排水します。十分な耐熱性がないと、床が水で濡れます。
- 水道水の有効塩素濃度が 0.2ppm 以上のときは飲料の味、臭いが悪くなることがありますので、浄水器を取り付けてください。また、塩素濃度の高い水を長期間使用すると、最悪の場合、お湯の温度が上がらなくなったり、水漏れの原因になります。
- 目安値を超える場合は、水質に適した水処理器の取り付けが必要となります。水処理専門業者または、最寄りのホシザキ販売会社に相談ください。
- 使用する水の全硬度が高い場合は、軟水器を取り付けてください。全硬度の高い水を長期間使用すると、最悪の場合、お湯の温度が上がらなくなったり、水漏れの原因になります。

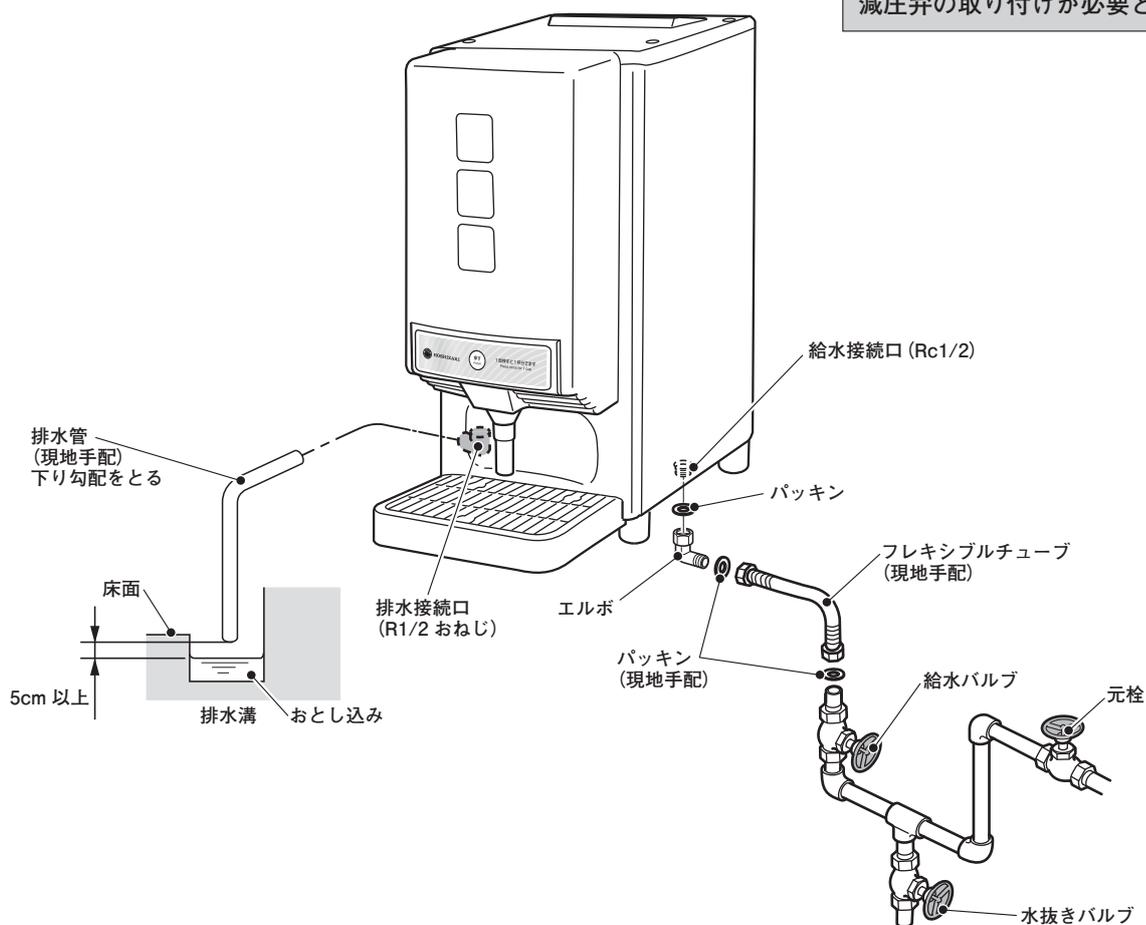
■ 給排水配管例

下図のような配管で行ってください。

お知らせ

- 給排水工事を確実に行ってください。水漏れから周囲（家財など）をぬらす原因になります。
- 配管類は、すべて現地手配になります。

給水圧が 0.78MPa をこえる場合は、減圧弁の取り付けが必要となります。



■ 配管工事終了の確認

水抜きバルブを閉じた後、元栓と給水バルブを開け、配管接続部からの水漏れがないことを確認してください。

試運転

■ 試運転前の準備

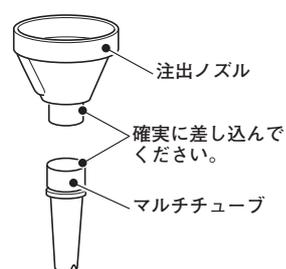
マルチチューブの長さ調節

マルチチューブの長さは容器のサイズにより変更できます。実際に飲料を入れる容器を使用し適切な長さに調整してください。

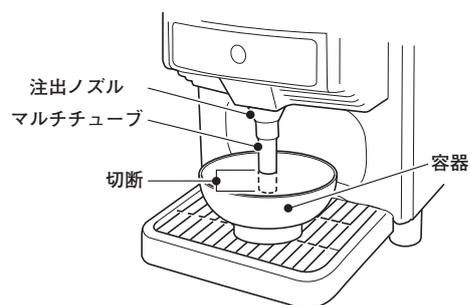
使用上の注意

- マルチチューブはノズルより注出される熱湯が容器の外へ飛び散りにくくするための部品です。必ず取り付けてください。また、マルチチューブを極端に短く切断すると、効果がなくなります。容器の大きさに合わせて適切な長さに切断してください。

- 1 付属のマルチチューブを注出ノズルの先に取り付けてください。取り付けは注出途中ではずれないよう最後まで確実に差し込みます。



- 2 マルチチューブを容器の大きさに合わせてハサミなどで切断します。



■ 運転動作確認

据付工事終了後、次の運転動作確認を行ってください。

単相機（単相 100V）

1 電源・電圧を確認します。

※ 単相 100V の専用電源を使用していますか？

2 アース線を接続します。

※ アース線は確実に接続されていますか？

3 電源プラグを専用コンセントに差し込みます。

※ 電源プラグは確実に差し込まれていますか？

4 水抜きバルブを閉め、元栓と給水バルブを開きます。

※ 給水されていますか？

※ 給水配管、排水配管の水漏れはありませんか？

5 ジョイントコックの確認をします。

6 吸引ポンプを取り付けます。

7 ハンガーの調整をします。

8 原料パックを取り付けます。

9 元電源（元ブレーカー）を「ON（入）」にし、電源スイッチ（漏電遮断器）を「入」にして運転を確認します。

※ 注出する前に、一度貯湯タンクに給水し、排水してタンク内を洗浄してください。

※ お客様の要望の注出条件に合わせてください。

※ 取扱説明書の「運転のしかた」（☞ 14 ページ）にしたがって、運転動作を確認してください。

10 操作説明をします。

※ お客様に取り扱い説明をしましたか？

11 説明書をお客様に渡します。

※ 取扱・据付工事説明書をお客様に渡しましたか？

●お買い求めの際に必ずご記入ください。

形 名			
お買い求め年月日	年	月	日
お買い求め店名			
	電話 ()	-	

● ご相談窓口のご案内

お買い上げの商品またはこの取扱説明書の内容につきまして、ご不明な点がございましたら、下記までご遠慮なくお問い合わせください。

ホシザキ北海道株式会社…………… ☎ (011) 841-4433	札幌市白石区菊水1条4-1-8
ホシザキ東北株式会社…………… ☎ (022) 728-9511	仙台市青葉区昭和町2-38
ホシザキ北関東株式会社…………… ☎ (048) 660-2311	さいたま市北区宮原町3-36
ホシザキ関東株式会社…………… ☎ (03) 3943-6201	東京都文京区白山4-37-33
ホシザキ東京株式会社…………… ☎ (03) 5791-8001	東京都港区高輪2-20-32 ホシザキ高輪ビル
ホシザキ湘南株式会社…………… ☎ (045) 650-6121	横浜市中区桜木町2-2-5
ホシザキ北信越株式会社…………… ☎ (076) 240-2266	金沢市松島2-26
ホシザキ東海株式会社…………… ☎ (052) 563-5581	名古屋市中村区名駅5-21-3
ホシザキ京阪株式会社…………… ☎ (06) 6762-5351	大阪市中央区内本町2-2-12 ホシザキ本町ビル
ホシザキ阪神株式会社…………… ☎ (06) 6886-5691	大阪市淀川区木川東3-1-34
ホシザキ中国株式会社…………… ☎ (082) 293-9451	広島市中区土橋町1-13
ホシザキ四国株式会社…………… ☎ (087) 811-5610	高松市紺屋町3-3
ホシザキ北九株式会社…………… ☎ (092) 471-7396	福岡市博多区博多駅南3-18-9
ホシザキ南九株式会社…………… ☎ (099) 813-0007	鹿児島市下荒田4-41-11
ホシザキ沖縄株式会社…………… ☎ (098) 861-1240	那覇市泊3-3-13
ホシザキ株式会社 サービスセンター …… ☎ (0562) 97-2126	豊明市栄町南館3-16

1607

ホシザキ株式会社

本 社 / 〒470-1194 愛知県豊明市栄町南館3-16 ☎(0562) 97-2111